



城 萩 舊

木戸孝允侯舊宅(次部省ヨリ史蹟トシテ指定定)



木戸孝允侯舊宅(大省ヨリ史蹟トシテ指定定)



木戸孝允侯舊宅(次部省ヨリ史蹟シテ指定)



伊藤博文公舊宅(文部省リヨ史蹟テシト指定)



宅舊生先進之文木玉



宅舊生先進之文木玉



宅舊生先進之文木玉



樓月花ト地生出爵子郎次彌川品



品川彌次郎子出地生花月樓



樓月花ト地生出爵子郎次彌川品



縣 松 陰 社 神 社



縣 松 陰 神 社





大照院 毛利家累代廟所



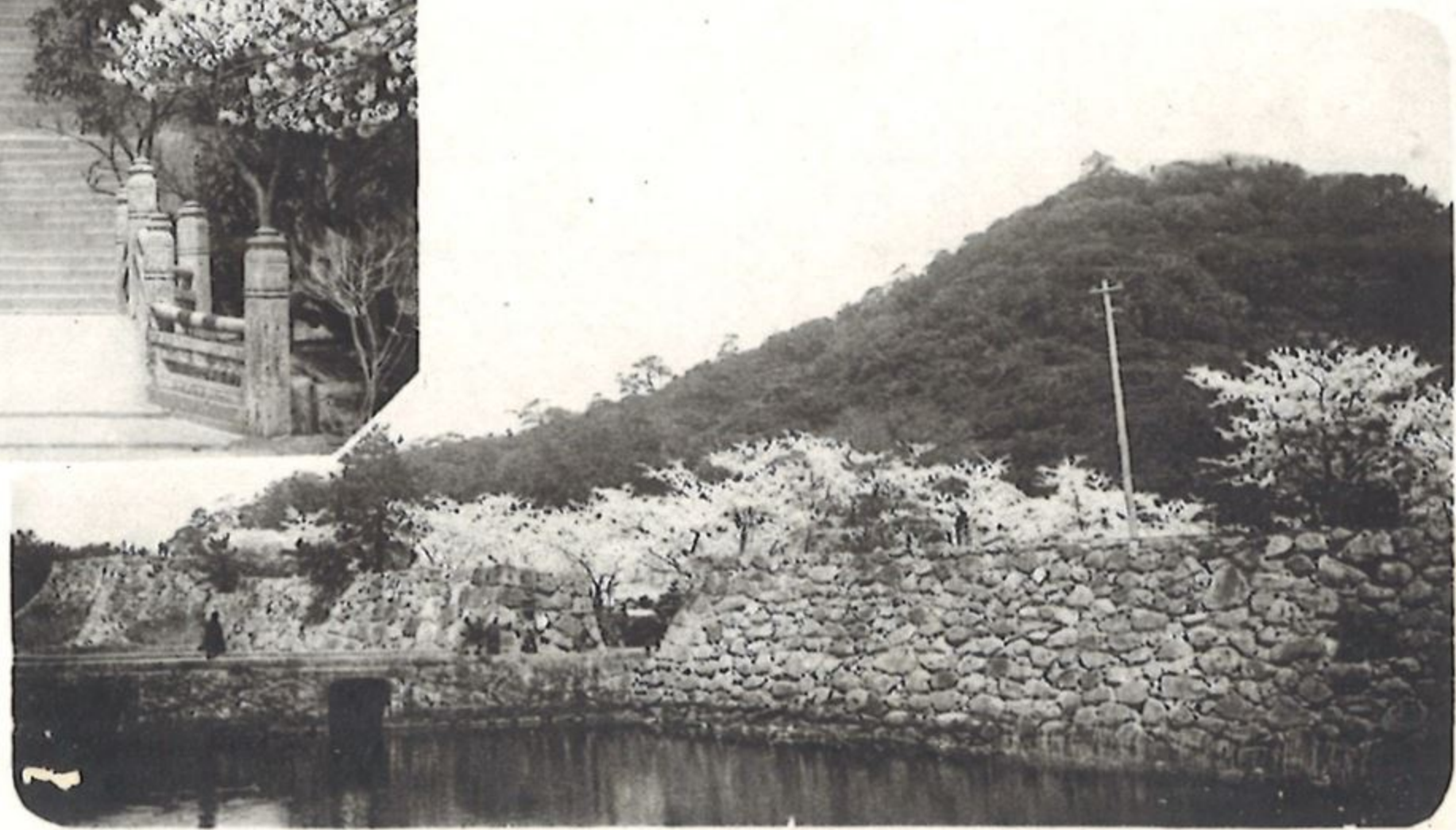
縣志都岐山神社



志都岐公園



縣志都岐山神社



志都岐公園園



(行發堂倫明山)

二其 會習練期夏操休刀長校學小等高常尋倫明 (萩門長)



(山岡明倫堂行)

第一 長門縣高等小學校長刀操夏期練習會



(行發堂倫明園山)

一其會習練期夏操休刀長校學小等高等尋倫明(款門長)



行發堂倫明田山

(館倫明)

堂講校學小等高常尋倫明 (萩州長)



(一 其) 會習練冰水期夏校學小等高常尋倫明 (萩州長)



(一 其) 會習練泳水期夏校學小等高常尋倫明 (萩 州 長)



(行發堂新日銀白)

館 倫 明 舊 (蘇 州 長)



行發堂新日銀白) View of Hagl

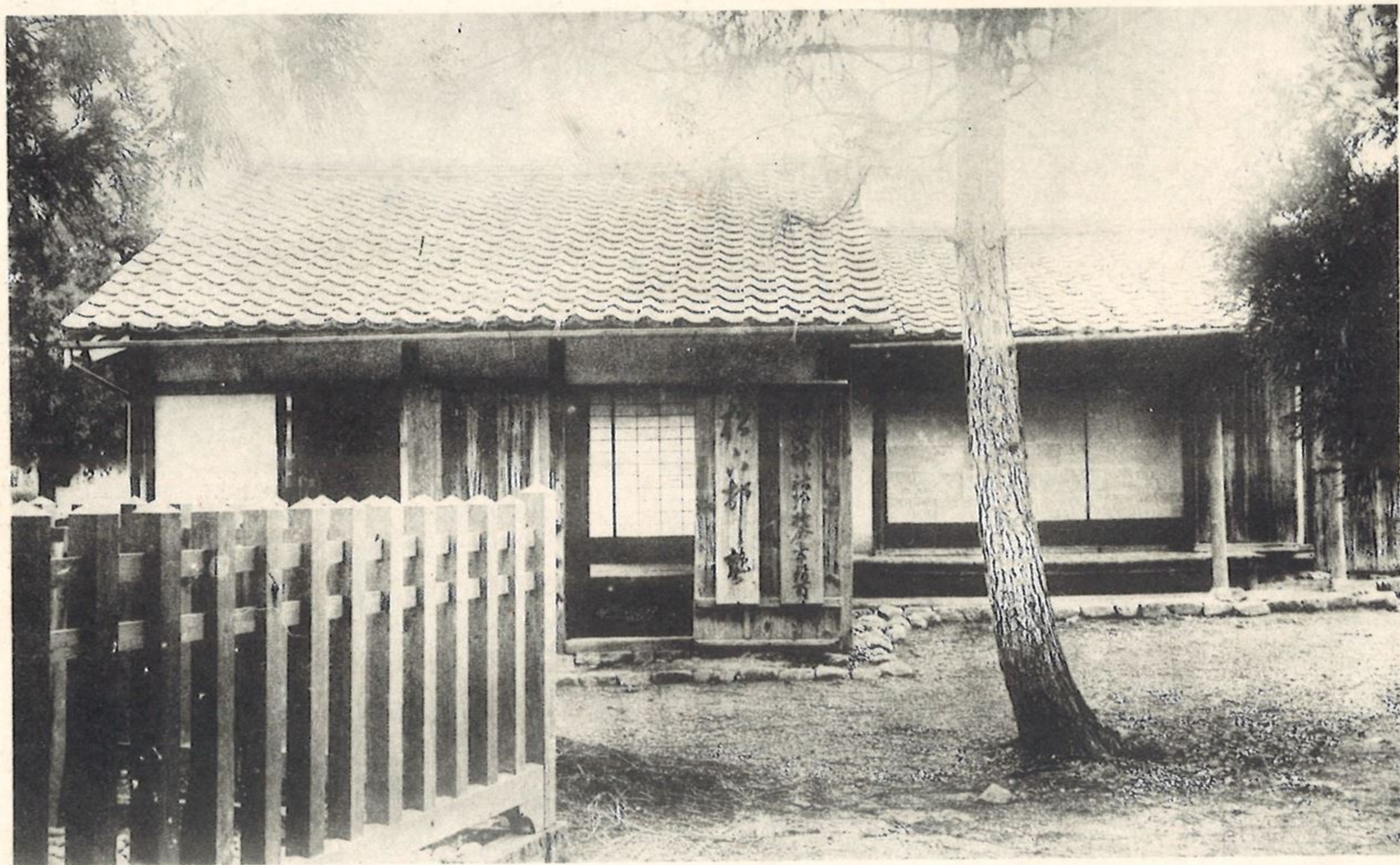
城 萩 舊 (萩 門 長)



(行發堂新日銀白)

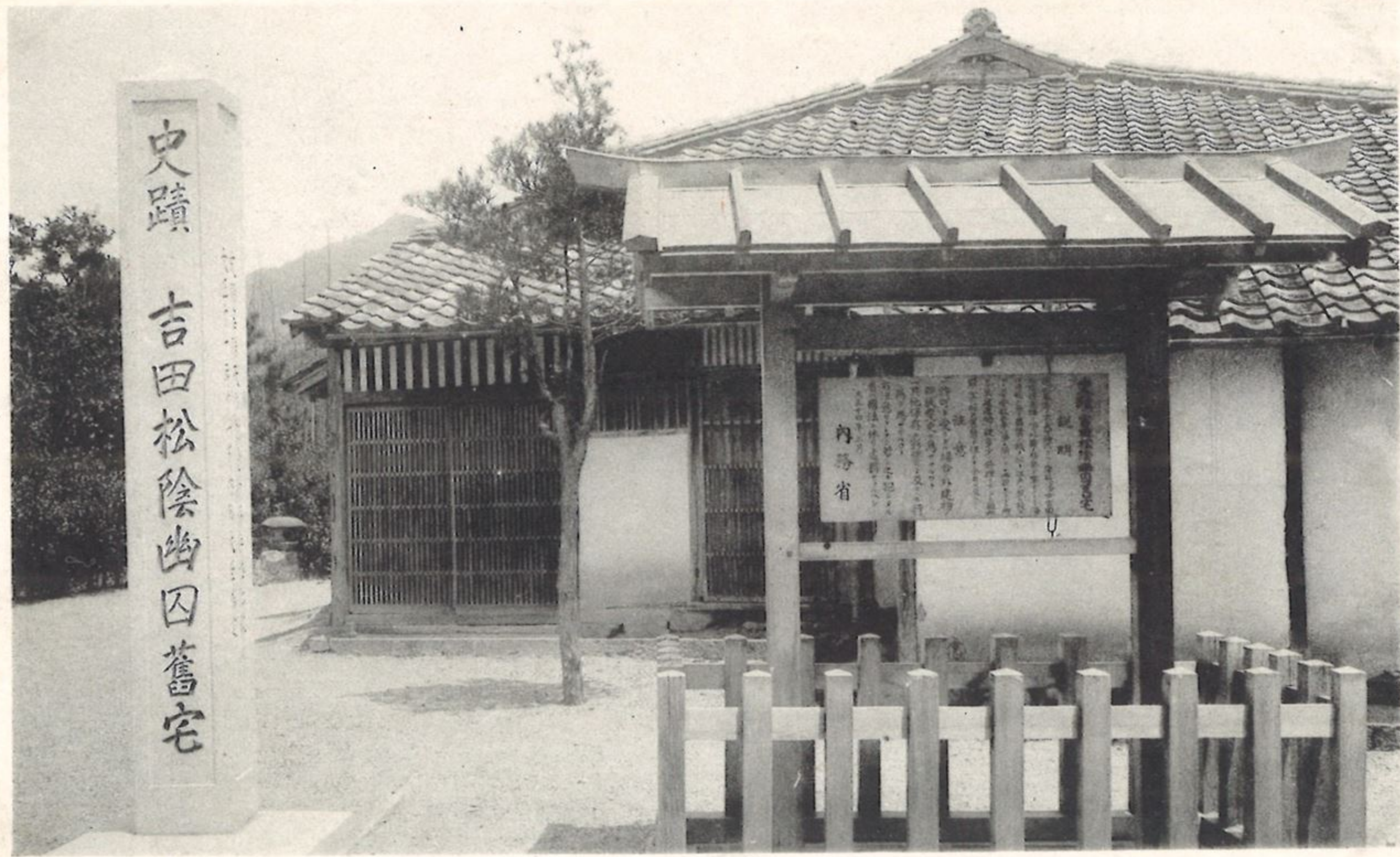
社神陰松

(所名萩門長)



(行發堂新日銀白)

塾村下松 (所名萩門長)



史蹟
吉田松陰幽囚舊宅

内務省

(行發堂新日銀白)

宅舊生先陰松

(所名萩門長)



(行發堂新日銀白)



井の產生と碑の生誕生先陰松

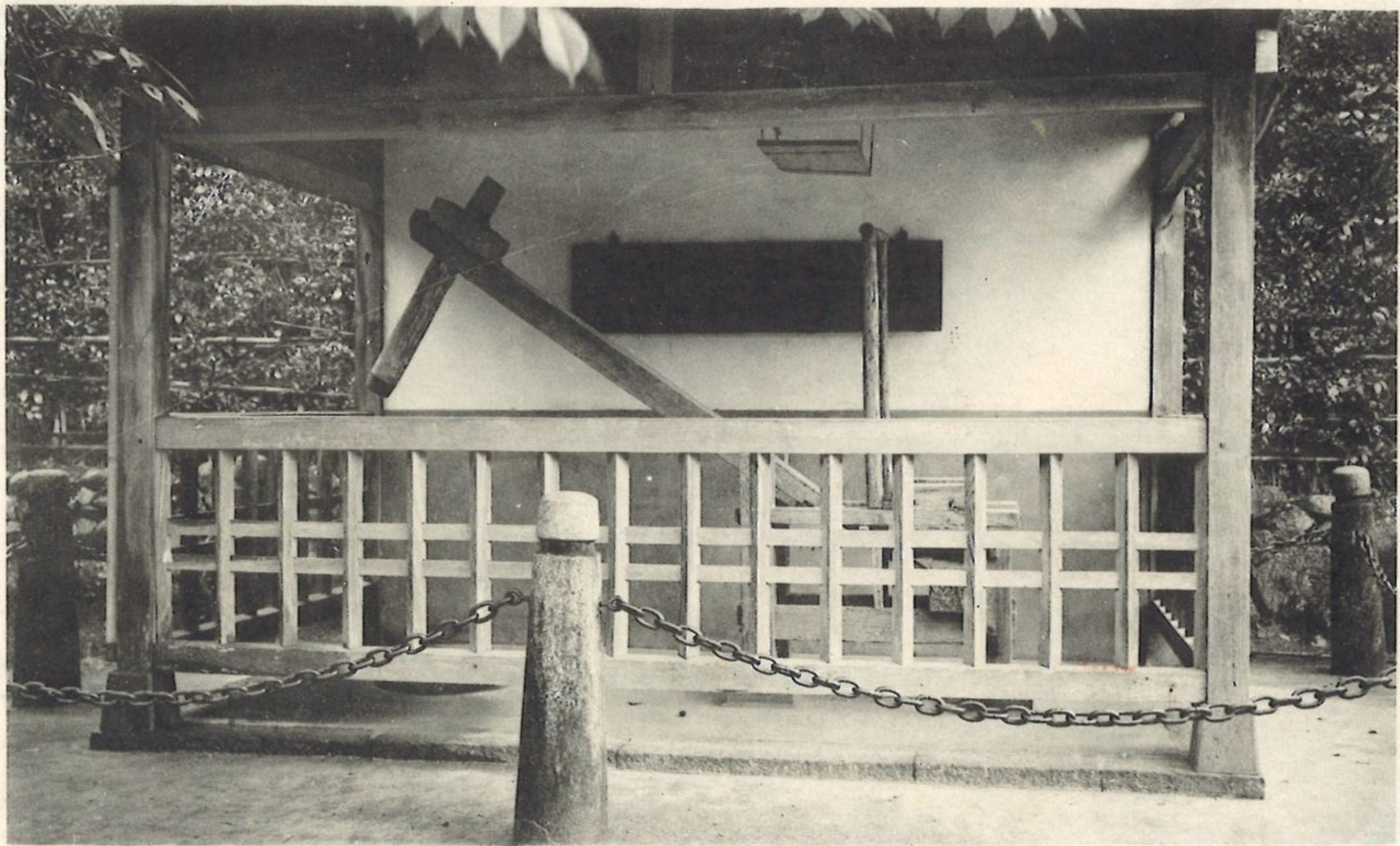
(所名蘇門長)



(行發堂新日銀白)

部内の塾村下松

(所名萩門長)



(行發堂新日銀白)

臺搗米の物遺生先陰松

(所名萩門長)



(行發堂新日銀白)

地生誕生先陰松田吉

(所名萩門長)



樹ノ椎二ノ前門地生誕生先陰松

(萩門長)



松陰先生誕生碑ノ全景

(長門萩)

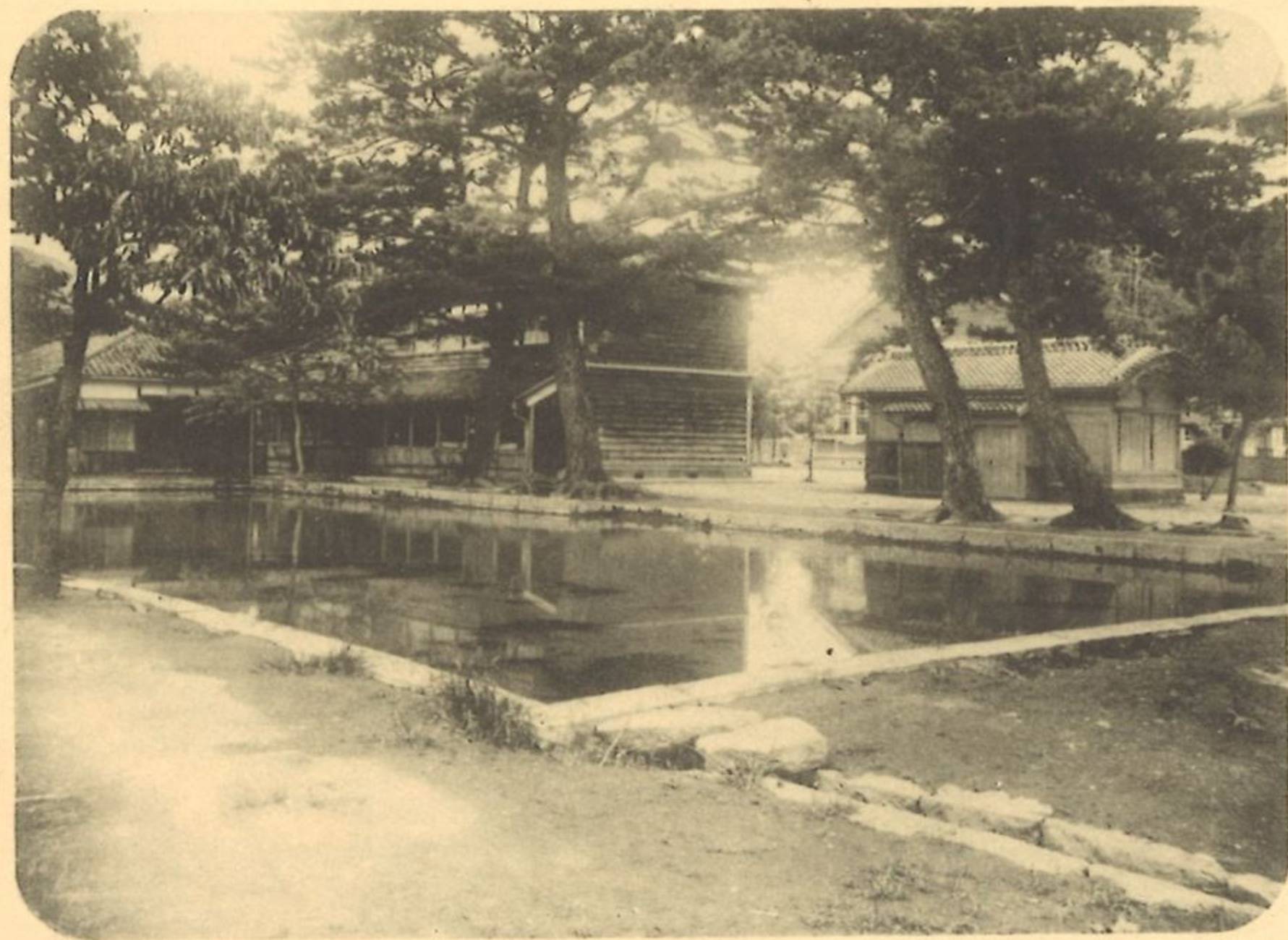
志都岐山神社

毛利元就卿以下歴代藩主の靈を祀る。社殿は鬱蒼たる指月山を負ひ。祠前の公園は舊萩城址にして地域廣濶。一面の芝生に點綴する櫻樹は春花爛漫の候屈指の遊覽地なり。園内には東園の遺蹟並に忠正公自ら重臣を會して國事を密議せられたる花江邸の茶室あり。

志都岐山神社



明倫館水練池



史蹟 明倫館水練池

長さ四十米幅十六米の池にして、館碑に「廟後鑿池蓄水可以習水騎」とあるは之を謂ふなり。明治九年前原一誠明倫館に據り事を爲さむとするに際し、其の意に反する者竊に貯藏せる火薬を此の池中に投したるに因り、俗に煙硝池ともいふ。左方に聖賢堂あり。孔子外四賢の木碑を藏す。

史蹟 松下村塾

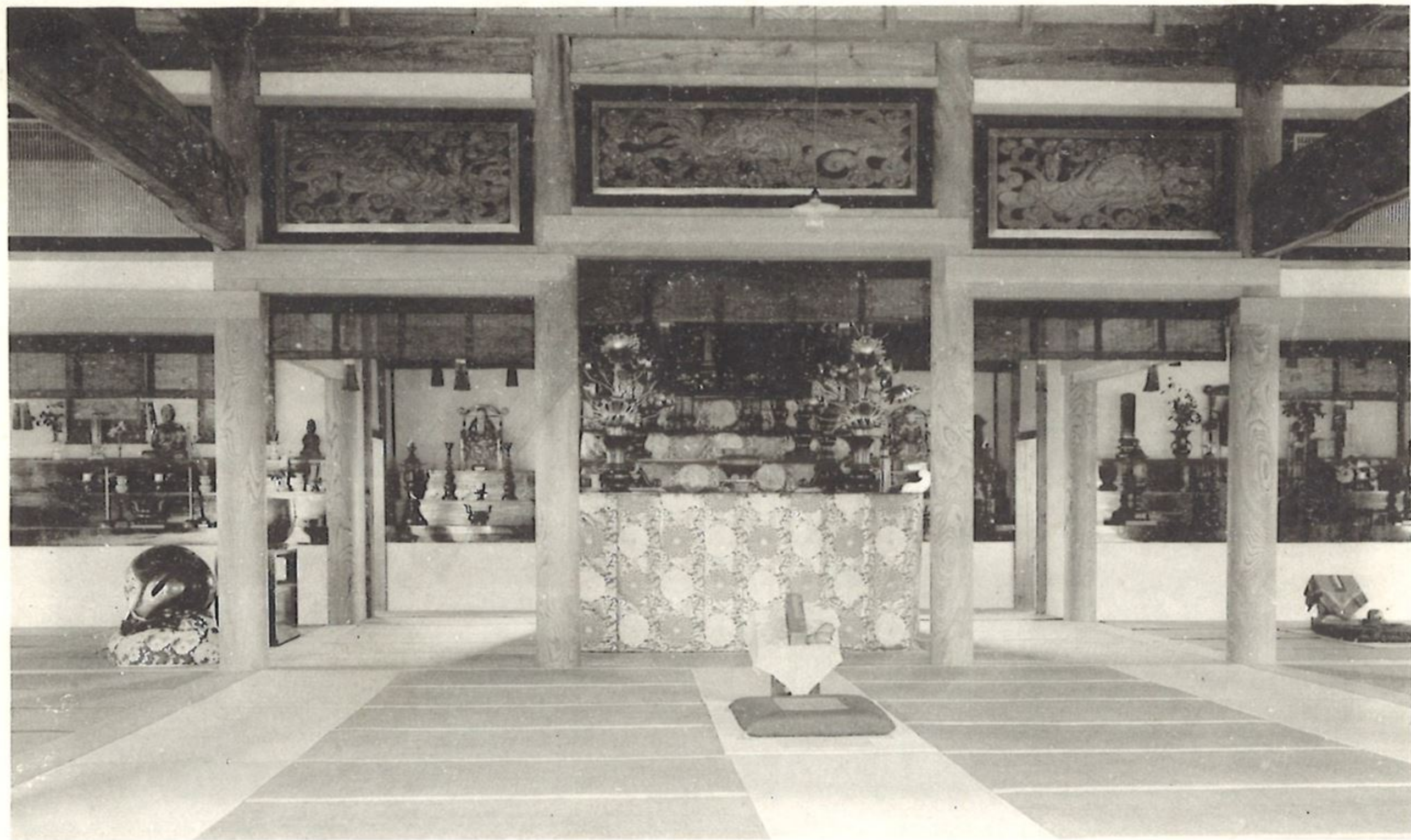
吉田松陰先生が子弟を聚めて教授せられし所。名聲夙に天下に傳へり。塾舎は八疊及十疊半の二室よりなる陋屋にして、安政三年七月より五年十二月まで僅々二箇年半に過ぎざる短日月の教化に依り、かくも幾多有爲の人物を輩出し、維新回天の鴻業を翼賛せられたるものなり。傍に松陰神社及先生幽囚の舊宅あり。

松 下 村 塾





山日縣萩 亨德寺本堂及位牌堂



山 口 縣 萩 市 德 亨 寺 本 堂 內 部



山日縣萩 亨德寺庫裡



吉田松陰先生ト松陰神社々前之景

三
 今此處分諸島已共夫一算入海百費也予在我
 心始首高方而無去夫多在御身是百進之釋教才
 諸事無功方探乎二十年成賦夫行百難氣亦一四
 人識其誠守御堂無不存實許家國守死生亦八前
 至誠不物守自亦之有人宜止亦分受言教是降
 已亦其月亦有明在之形時奉此誠望復歸雖則余
 固以永執者誠大謀況清無窮者身操者自營之誠
 無窮也存其當時守身統御之我死守之自費者相
 夫夫河成之身初謀非以信乃有上色乃
 二十一回 德士 嘉實 撰 共 書





(製復許不)

殿拜社神陰松社縣



長州萩の夏の菊ヶ濱



SHOIN SHRINE, MATSUMOTO, HAGI.

萩松本松陰神社



SHOIN SHRINE AT HAGI. 萩松陰神社

ありては活なきを云ふ程に
 二千年の歴史ありては
 新の
 ありては活なきを云ふ程に
 二千年の歴史ありては
 新の



TO PUBLISH, SHIRAZI A OLD CASTLE, NAGATsuma 長門藩城



RUINS OF HAGI-CASTLE.

趾城舊萩州長



花 樓 の 園 公 岐 都 志 萩 門 長

ヨシノ目オデラマ マサ 三十二月十七日
ハメトゴイスイ ス



兼報ヶ浜明神社



長州萩 倉江ノ歸帆



THE VIOLENT CURRENT OF GULF TAIKO-HAGI.

流激之灣誠太萩



RIVER SHIP THAT SAW FROM TSUHASE-HAGI.

船川ルタ見リヨ瀬波津萩

丁未

二月
七日

オト
サマゴ
ビヨウキ
イカガチゴサイマ
カズミマイヌウシ
アサマ

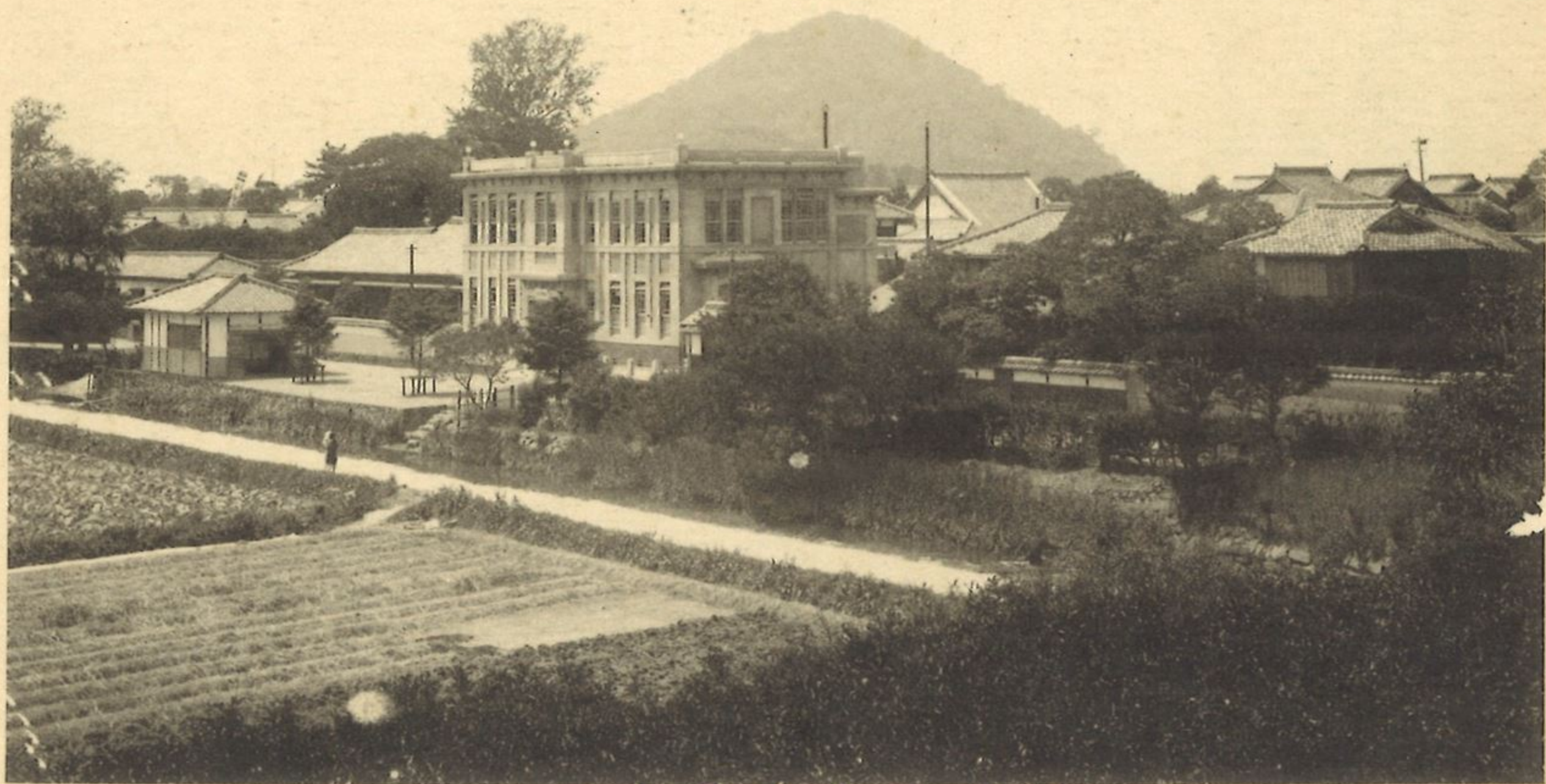
萩中荒神社の景



(行發堂新日銀白)

廟ノ公利毛内境寺光東

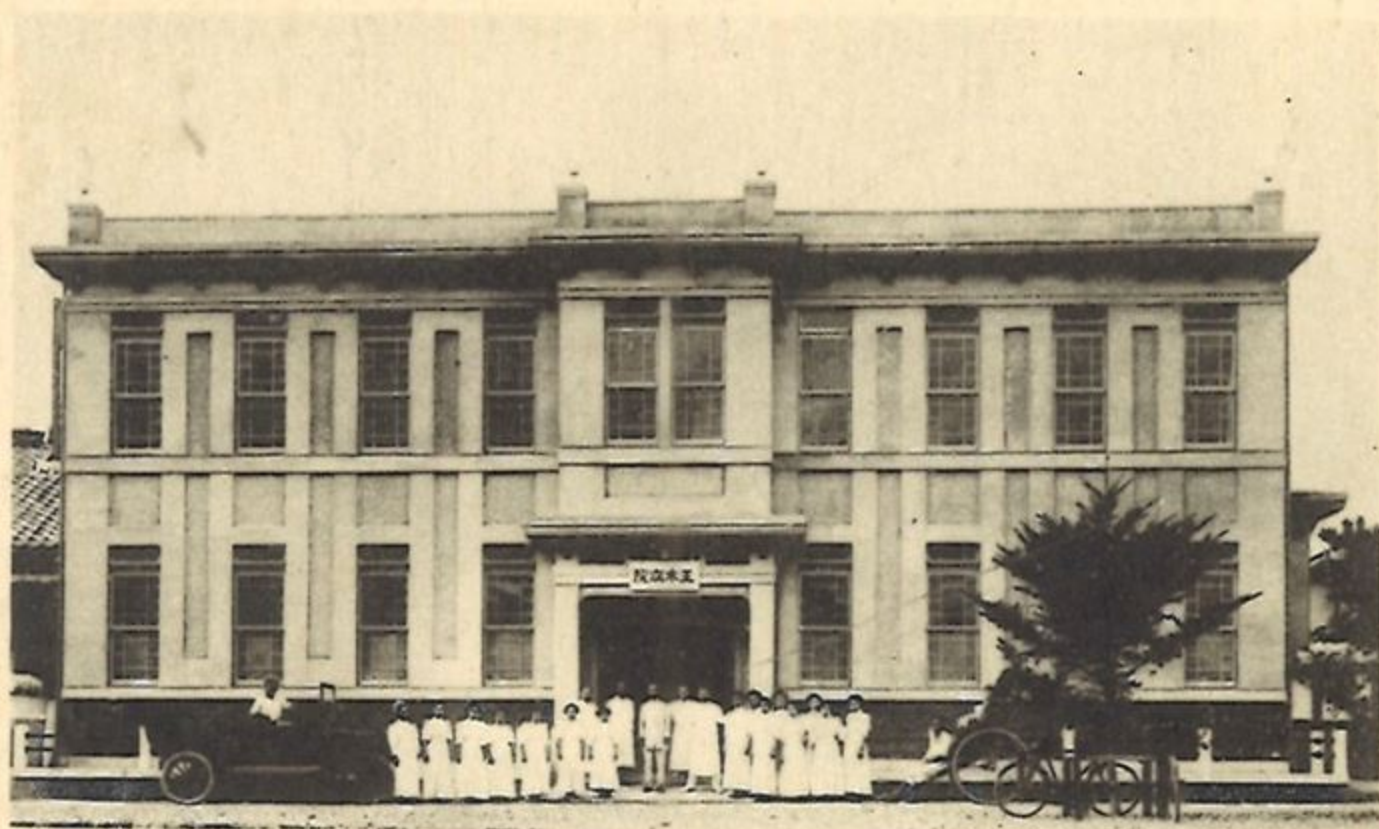
(所名萩)



景遠院病木玉町萩



部一ノ景外棟病式和院病木玉町萩
室病全



萩町玉木病院本館正面

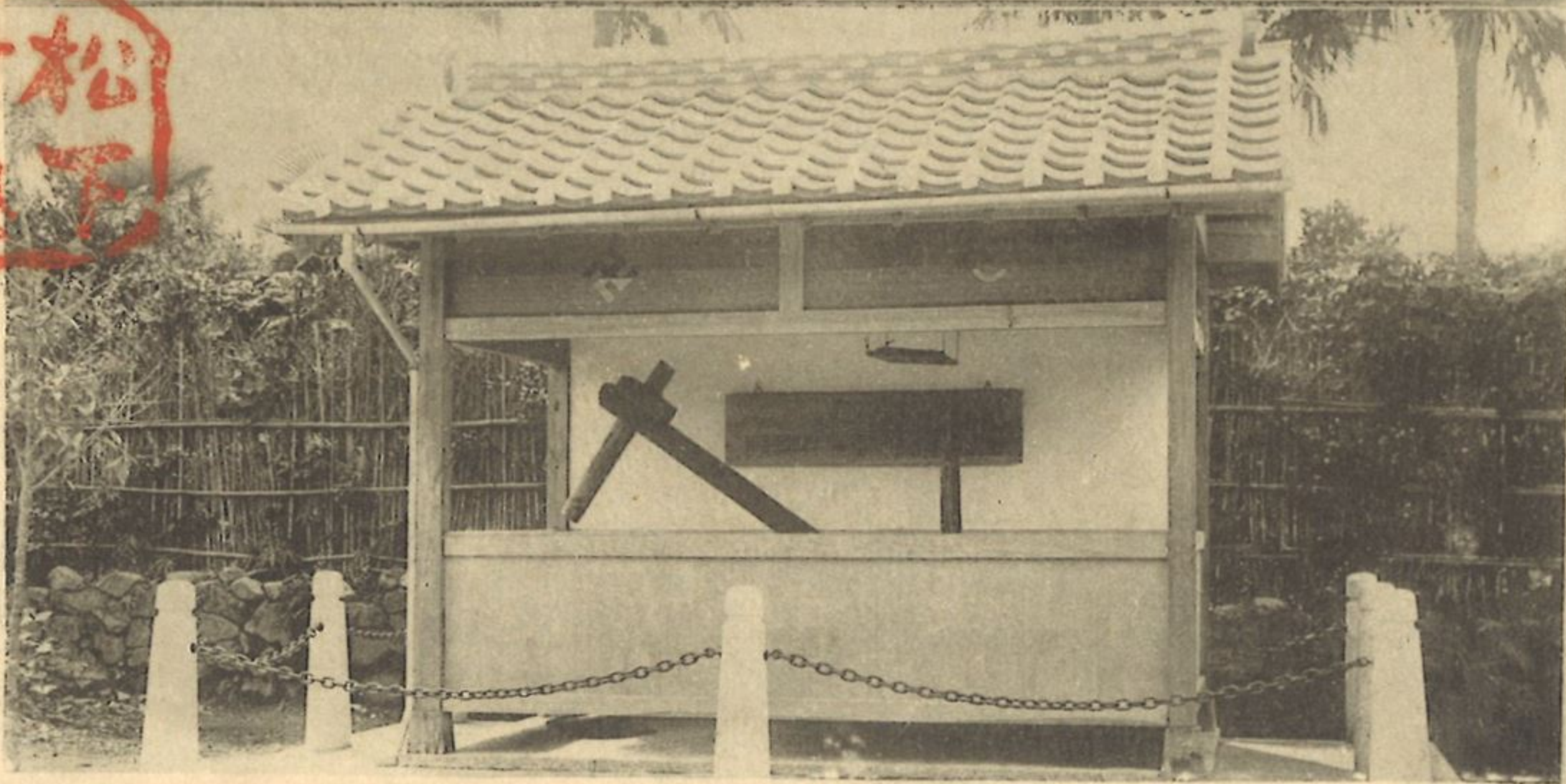
全受附待合

縣社松陰神社

米搗臺保存庫

松陰先生の幼時より苦心學
習の刻苦勉勵し分陰を
惜み行林又は坐臥の間とし
も講讀林録を讀せられさう
し事實世人に周知せし所
なり安政五年六月二十八日
先生村塾より在京に又坂義
助氏に贈らし書中「高日
左傳八家會讀切論塾中常居
七つ過會讀終る夫々當又は
米春典在塾生同之米春大得
其妙大極而三人同し上り
會讀し「春之史記」を
二十四五茶漬之間に米漬け
畢る亦一快なりあり此一
事に徹し「先生は力行終
始論」す且師弟の交情親密
なり「苦樂を同し」とし「此
頼し有為の人材塾中より輩
出せらるることの洵も偶然に
あらずは察する可餘りあり
六の米搗臺は先生塾生と共に
其飯米を舂かれしものか
し「當時より杜氏の宅内に
ありしもの今米等相謀り之
を杜氏に請ひて松陰神社の
境内に移し以て先生遺物の
と永遠に保存し付せし松下
村塾教育の一証を知りて科
小似せむとすおもはれ神社に
詣りて村塾を訪はす人人この
遺物を觀て米等の感慨百分
の二ありあらざるなり
明治四十二年秋季皇靈祭日
温交會員

徳田讓市
道源權治
河北勘七
式弘宜路
瀬口吉良
野村権造
大塚謙彦
國重政亮
山田桃作
古谷新伴
三輪得七
美橋龍彦



(不許複製)

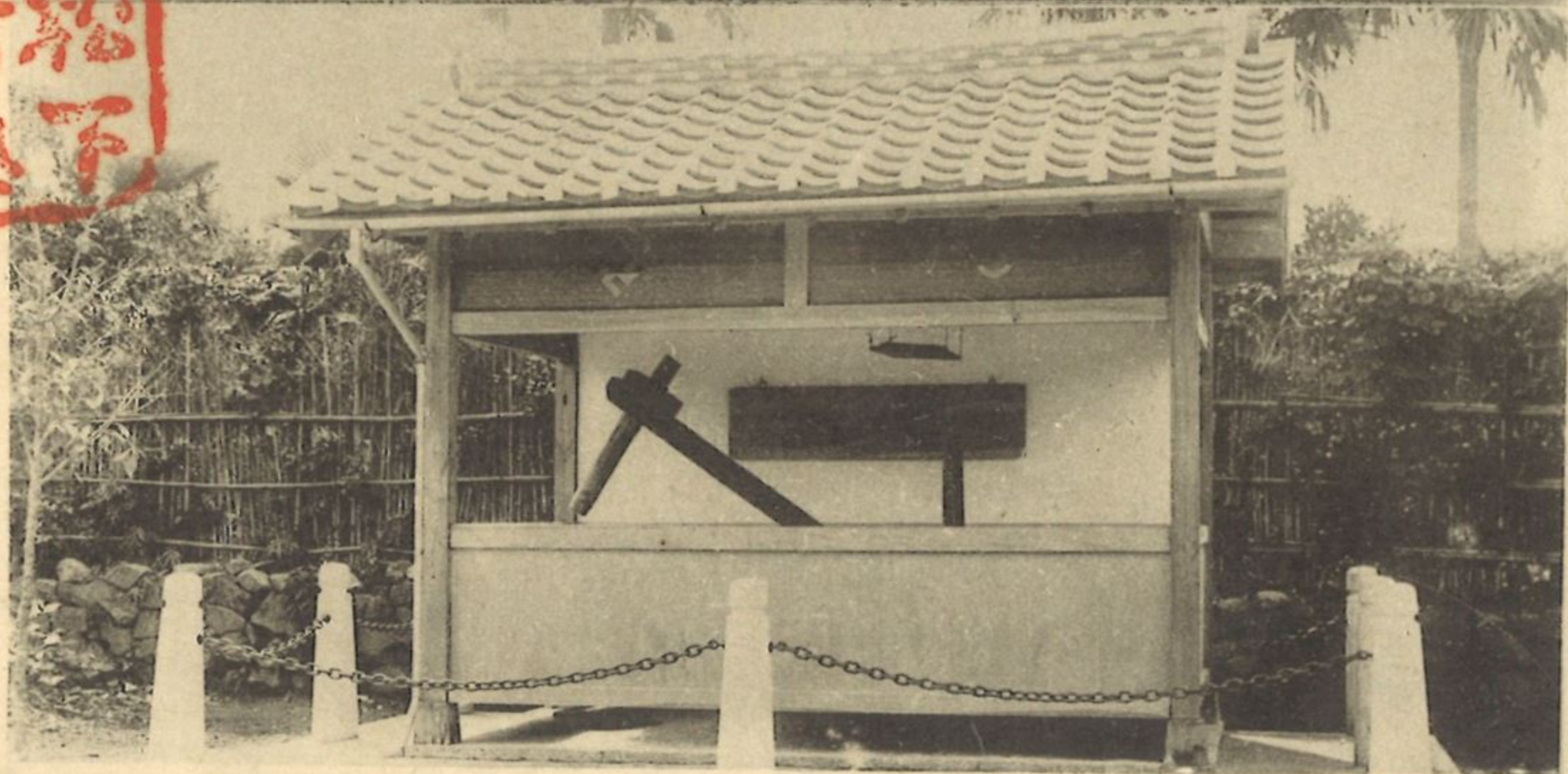
縣社松陰神社

米搗臺保存庫

松陰先生の幼時より専心學
 習の刻苦勉勵し分陰を
 惜み行林又は坐臥の間とし
 り講讀抄録を撰せられたる
 し事實を世人に周知する所
 なり安政五年六月二十八日
 先生村登より在京江又坂長
 助氏に贈る書中の語曰
 左傳八家會讀勿論塾中常居
 七つ過會讀終る夫々常又は
 米舂典在塾生同之米舂大得
 其妙大抵而三人同し上り
 會讀し下り春之史記なり
 二十四五茶讀し間に米精け
 事亦一快なりあり此一
 事に徹し先生は力行終
 始論らず且師弟の交情親密
 ありし苦樂を同しとせしれ
 ば有為の人材塾中より輩
 出せらるることの洵に偶然に
 ありしを察するに餘りあり
 六の米搗臺は先生塾生と共に
 其飯米を舂かれしもの小
 しし當時より杉氏の宅内に
 ありしもの今米等相傳り之
 を杉氏に請ひて松陰神社の
 境内に移し以て先生遺物
 と永遠に保存し付と松陰下
 村塾教育の一斑を知りて科
 小供せむとすあまは神社に
 詣り村登を訪はる人人この
 遺物を觀て米等の感慨は分
 り所あり易簡り米等の本懐
 のありありなるなり

明治四十二年秋奉皇靈祭日

- 徳田謙市
 道源惟治
 河北勲七
 式弘宜路
 並口古良
 野村極造
 大塚謙尚
 國東政亮
 山田桃作
 古谷新作
 三輪傳七
 長瀬龍彦

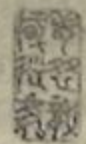


(不許複製)

故山田顯義伯真蹟

茶香泉白

辛卯之春
忠齋居士



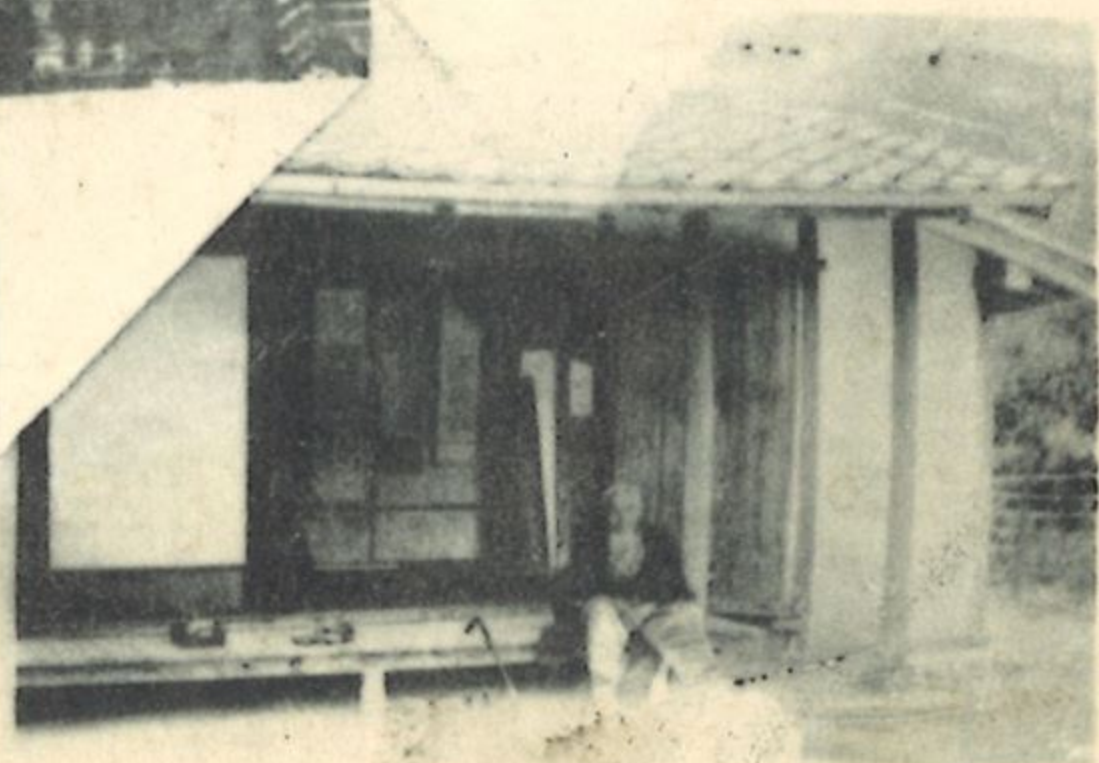
松下村塾發行

(不許複製)



A SHINTO TEMPLE, SHYOINJINJA. 社神陰松

村松
塾下



MATSUSHITASONJIKU. 塾村下松



村松
下

A SHINTO TEMPLE, SHYOINJINJA.

社 神 陰 松

松陰先生眞蹟

志、く、以、東、一、旅、多、き、ま、る、と、を

如、計、ま、る、も、君、の、國、に、亦、安、
如、計、は

不、成、旅、と、亦、も、其、
其、

何、を、念、也、

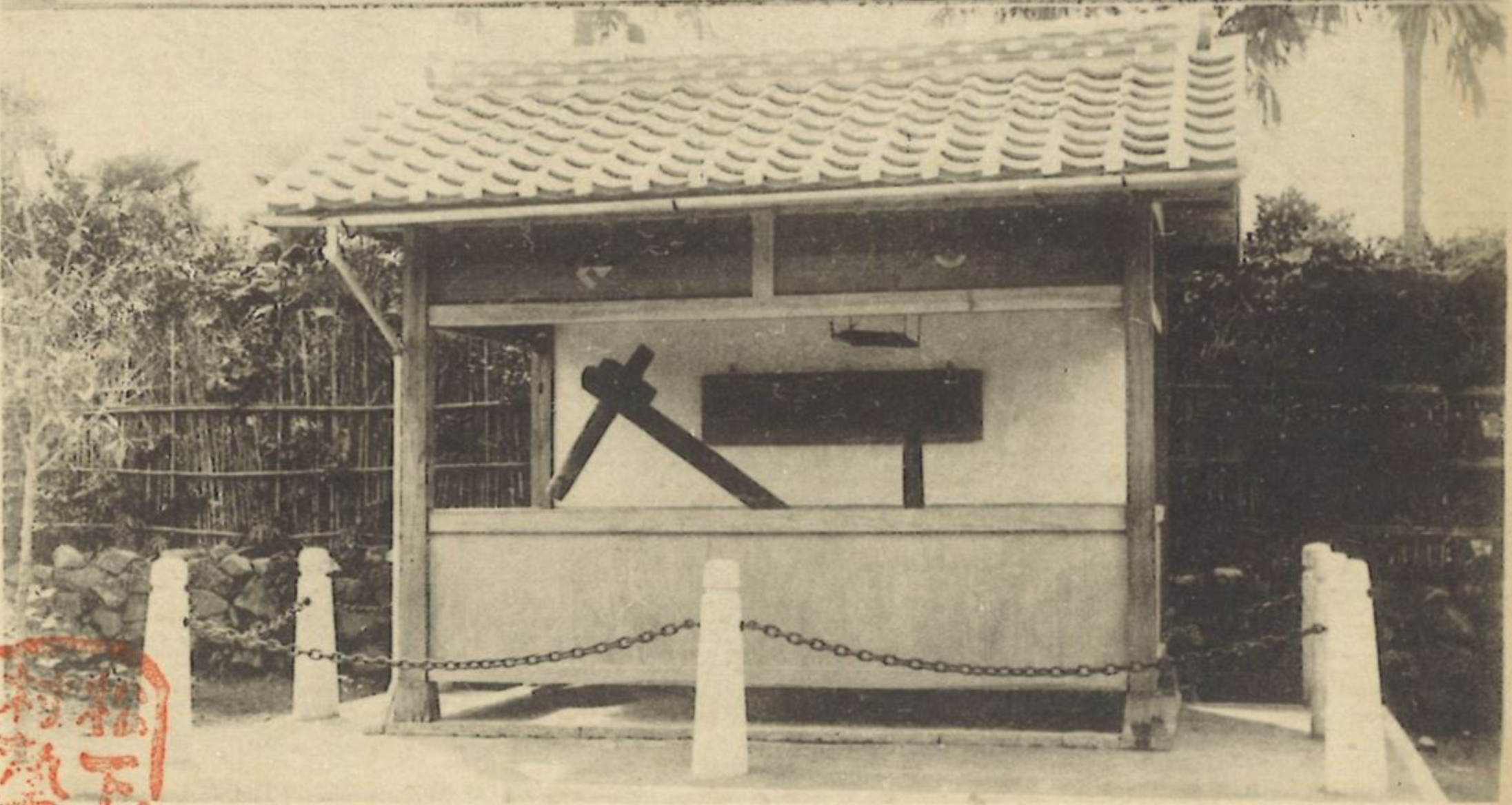


米搗台保存庫

(不許複製)

松陰先生の幼時より専心學
 習。對苦勉勵し一分陰を
 惜み行跡又に至秋の間、
 滿洲林を遊ばせられたり
 事實を世人に周知せしめ
 たり安政五年六月二十八日
 先生村没より在京江又坂義
 助氏に贈りし書中、湯日
 左傳八家會讀句論卷中常居
 七、過會讀終る夫、呂又曰
 宋亦與在發生河之米春大得
 其好大抵而三人同し上り
 會讀し、春之文記を
 二十四五葉讀む間に米精け
 事亦一快なりあり此一
 事に微し、先生は力行終
 始論す、且師弟の文情親密
 あり、苦樂を同し、
 賴し有為の人材發中より草
 出せりこと、洵に偶然にあ
 り、此を察する、餘りあり
 此の米搗臺は先生發生と共に
 其飯米を舂ふれしもの
 あり、當時より松氏の宅内に
 在り、今某等相謀りて
 松氏に請ひて松陰神社の
 境内に移し、以て先生の遺物
 として保存し、併に松下
 村塾教育の一環を知り、科
 目を併せ、
 諸君村塾を訪はす人々この
 遺物を觀て、某等の感激は分
 所あり、
 明治四十二年秋季皇靈祭日
 温文會員

- 徳田謙市
- 道源權治
- 河北勘七
- 武弘宜路
- 瀬口吉良
- 野村操造
- 大塚傳海
- 國東政亮
- 山田桃作
- 吉谷新作
- 三輪傳七
- 美滿龍彦



縣社 松陰神社寶物

松下村塾發行

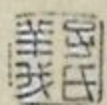
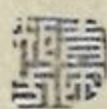


松陰先生畫像

○下

三分出處分諸葛已矣夫一身入洛兮實危殆在哉
心師黃高兮而無素立名去仰魯遜兮遂之釋難才
讀書無功兮操學三十年減賦失計兮猛氣廿一四
人識狂頑兮鄉黨敢不容身許家國兮死生吾久爾
至誠不動兮自古未之有人宜立志兮聖賢救危隄
已未五月吾有聞左之冠時幕旋派重復紳難爾
因以永訣告諸友謀使浦無窮肖吾像吾自贊之顯
無窮知音者宜特寫吾貌而已哉况吾之自贊乎諸
友其深藏之吾印襟市以幅乃有生色也

二十一回猛士藤寅撰其書





松陰先生墓

留魂



身はたゞし我花の所也に
 朽ぬも苗置まし大和魂
 十月念五日
 二平回猛士

松陰先生遺墨

松陰先生自贊肖像

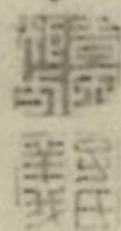
吉田庫三君所藏

自贊

三分出處分諸葛已矣夫一身入洛可實彪安在哉
心師贊高弓而無素立名志仰身運可遂之擇難才
讀書無功可操學三十年減賦夫計可強氣壯一田
人機狂補寫鄉黨衆不容身許家國可死生吾久所
至誠不勅寫自古亦之有人宜立志可聖賢敢追陪

己未五月吾有關於之也時幕旋派重復難期余
因以永訣告諸友妹使浦無窮者吾像吾自贊之類
無窮知吾者宜特寫吾貌而已哉况吾之自贊子備
大其深藏之吾仰襟市以幅乃有生色也

二十一回猛士幕實撰其書



松浦松洞筆松陰先生畫像

東京

柴田正光氏所藏

三分出處字諸葛已矣夫一身入洛字賣老
安在哉心師贊高兮而無素立名志仰魯連
兮遂之釋難才讀書無功兮操學三十年減
賦失計兮猛氣廿一回人譏狂頑兮御黨衆
不容身許君國兮死生吾久齊至誠不動兮
自古未之有古人難及兮聖賢敢追陪
予為人書以發化七通今已歎之竇御後
以見通嗚呼竇御於吾最舊其可銘乎將
癸之前夕二十一日松洞士成書





伊藤琴子自刀



伊藤重藏翁



伊藤博文公舊宅



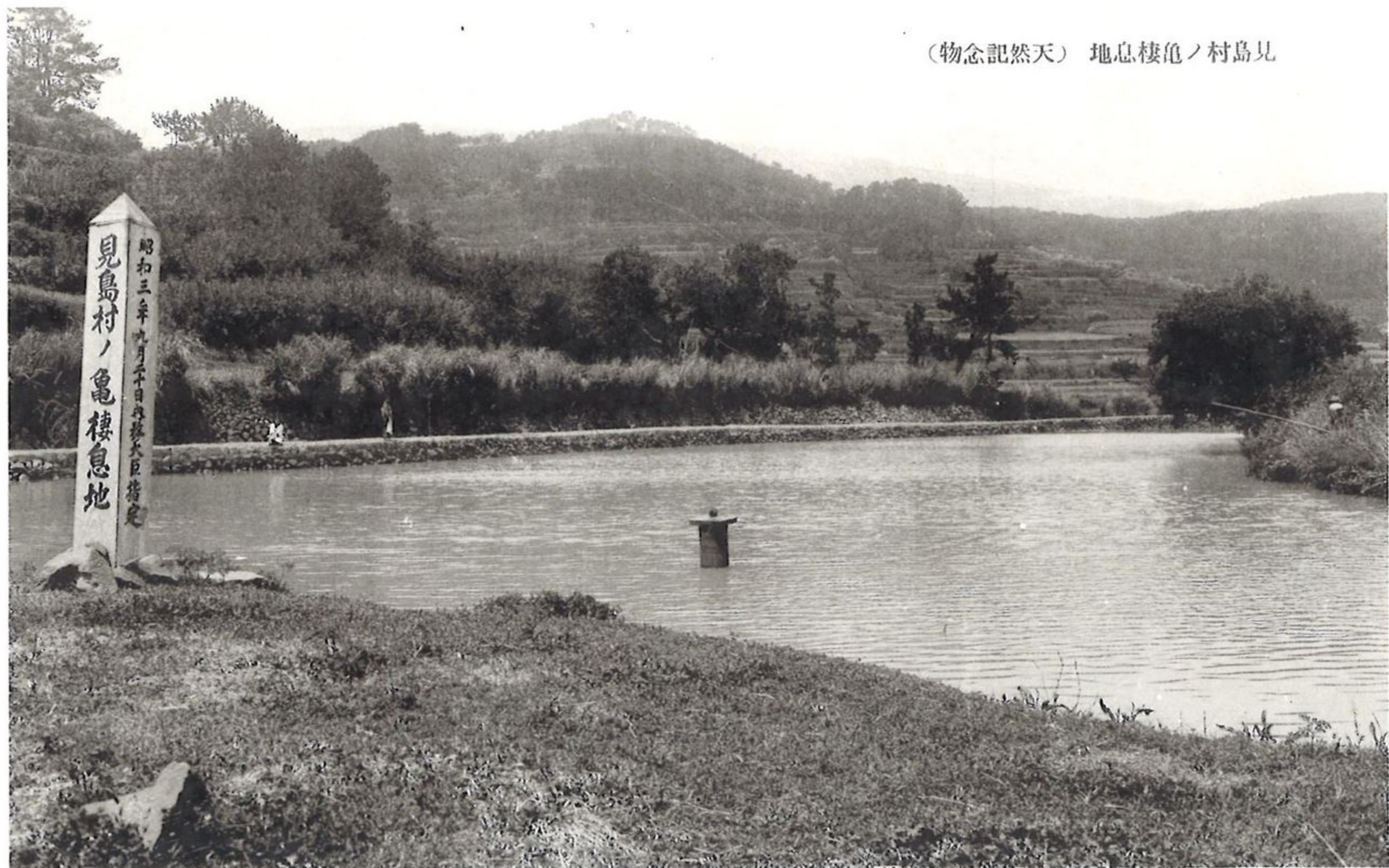
伊藤博文公銅像

美少至平中原南
滿海風光潤
遠天秋雷年
戰迹留餘憤
呼更使起行人亭
暗秋

岩子帽島 島見



(物念記然天) 地息棲亀ノ村島見

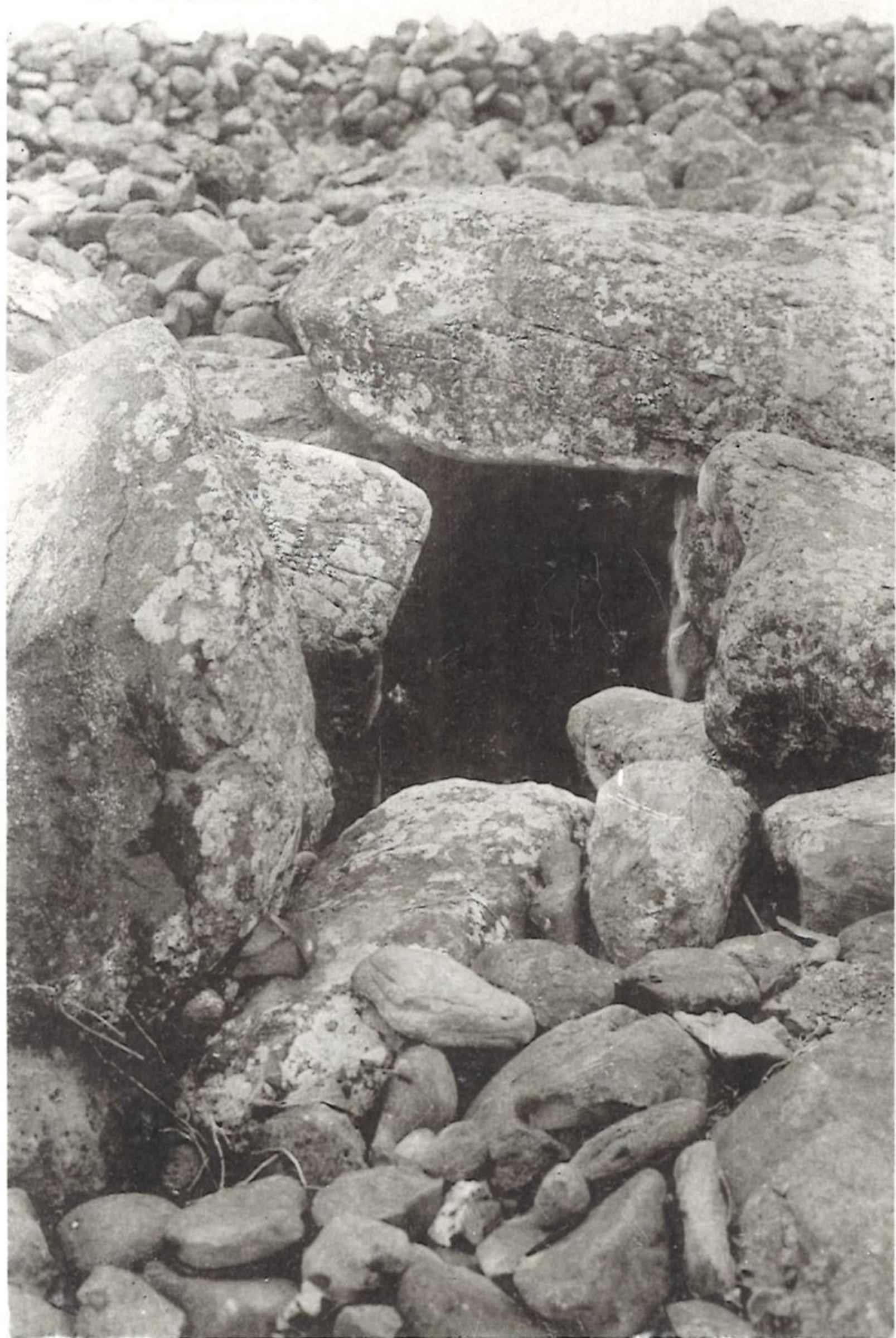


△望ヲ反八町八リヨ山台晩 島見

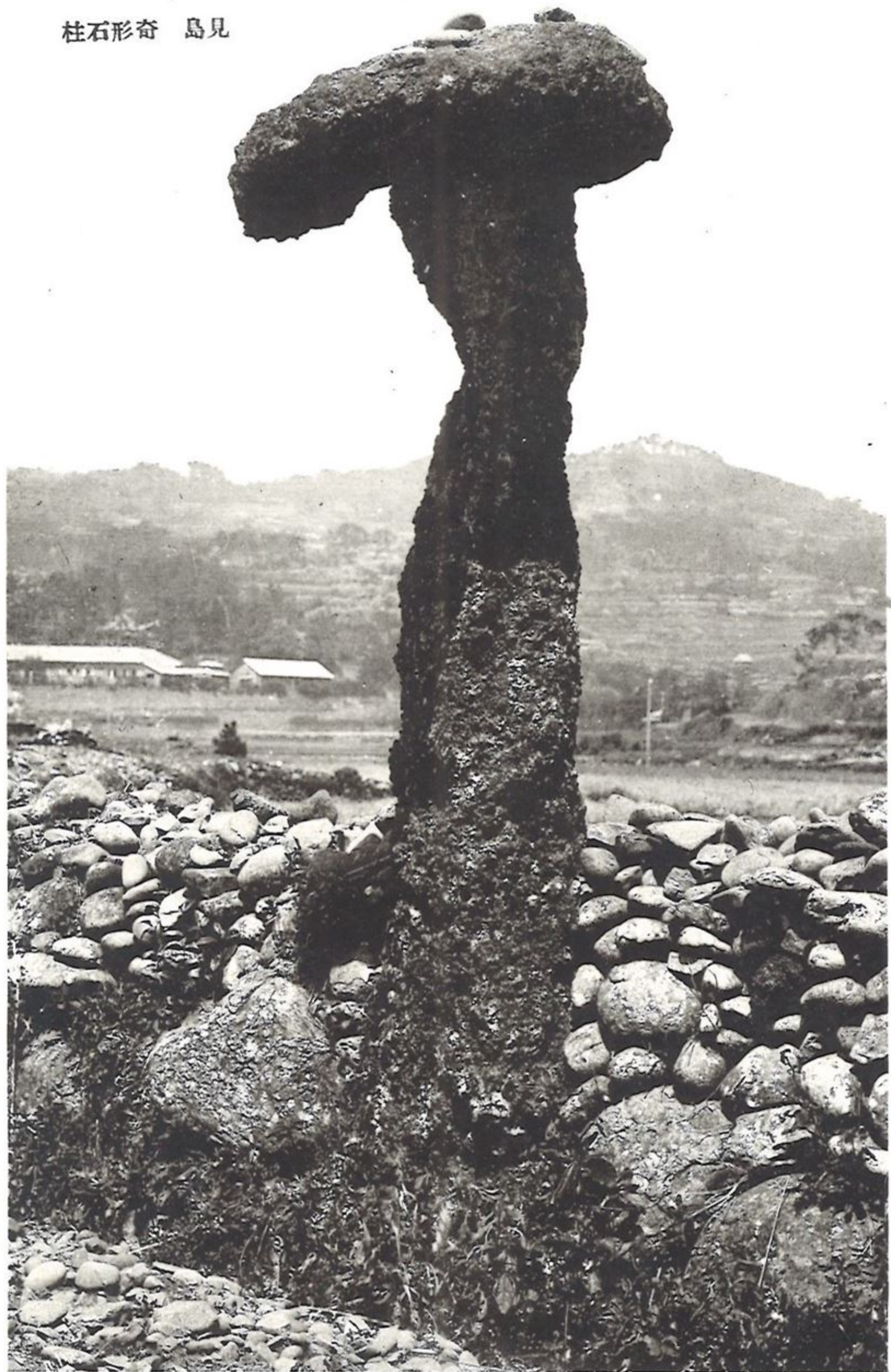




ボンコダ墳古 島見



柱石形奇 島見



岸海田見砂 島見



村本 島見



内港（一の其）港村本 島見



外港 (二の共) 港村本 島見



見島村小學校



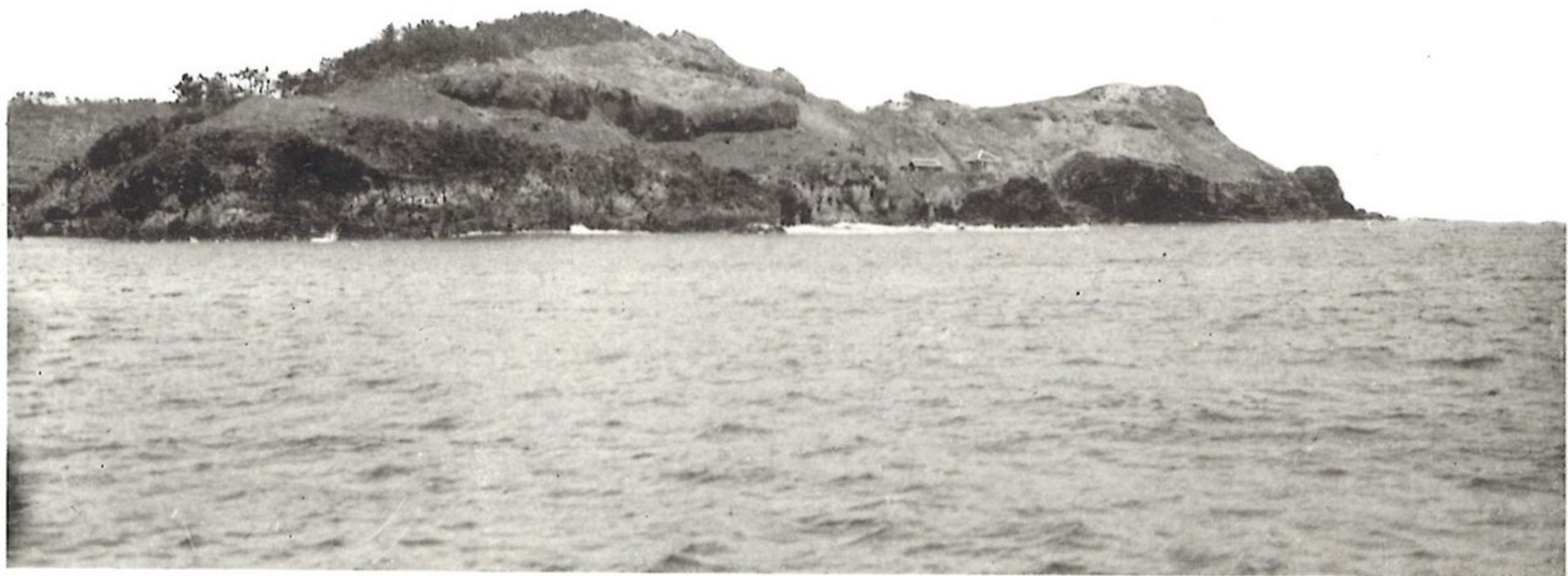
(物念記然天) 牛島見



見鳥古牧放牧場



北島觀音ノ景



港津宇 島見





齊藤校長



院前校長



校舍正門

校地
五〇五五
〇四八
職員
三九
級常設

現生	本科	實科	補習	計	學生	本科	實科	計	級常設
在徒	300	98	20	418	業徒	96	690	786	3289



景全校學女等高菽

歌 校



世のいふ言をききはらひたる
 二復必山下の松の風
 常盤ふびびく萩の里
 指月の山にてる月の
 清くやきく心して
 たえず修めむ人の道
 阿武の河波よきいに
 流せやまぬ心もて
 たえず勵まむ人の業



山寄開
口宿三
縣立舍十
萩自周
中習年
學室記
校念



山日縣立裁中學校
寄宿舍全景
開舍三十周年紀念



山 口 縣 立 萩 中 學 校
寄 宿 舍 上 階 下 廊
開 舍 三 十 周 年 記 念



山 口 縣 立 萩 中 學 校
開 寄 宿 舍 三 十 周 年 食 堂 記 念



山寄開
口宿舍
縣舍三
立生十
萩徒周
中自年
學強記
校術念



山田明倫堂發行

明倫體育學校運動會



山田明倫堂行

明倫尋常高等水字學校運動會



(行發堂倫明園山)

二其 會習練期夏操休刀長校學小等高常尋倫明 (萩門長)

伊藤博文公筆

東京

久原房之助氏所藏

江正老氣似倅心休舊園林
多事申為造事了花一人身見
古往秋之正身表涼

霸作懷古

壬辰秋



山縣有朋公筆

京都

齋藤恒三氏所藏

萬華憲原元所期出沙來半皆
空復如向天子古途急臨別陣
溪滿衣

將發滿洲作

軍械之用



標鑑を祚火の昔と
 形も煮くは盡く後免や
 子向方る道具おとし
 中の丹黄塗の塗も
 赤の縁をいそほり出を末
 うる實の縁をすそ
 及をぬるふ福をいそほり

田平白田

おた

小

櫃

之



 の

木戶孝允公筆

防府

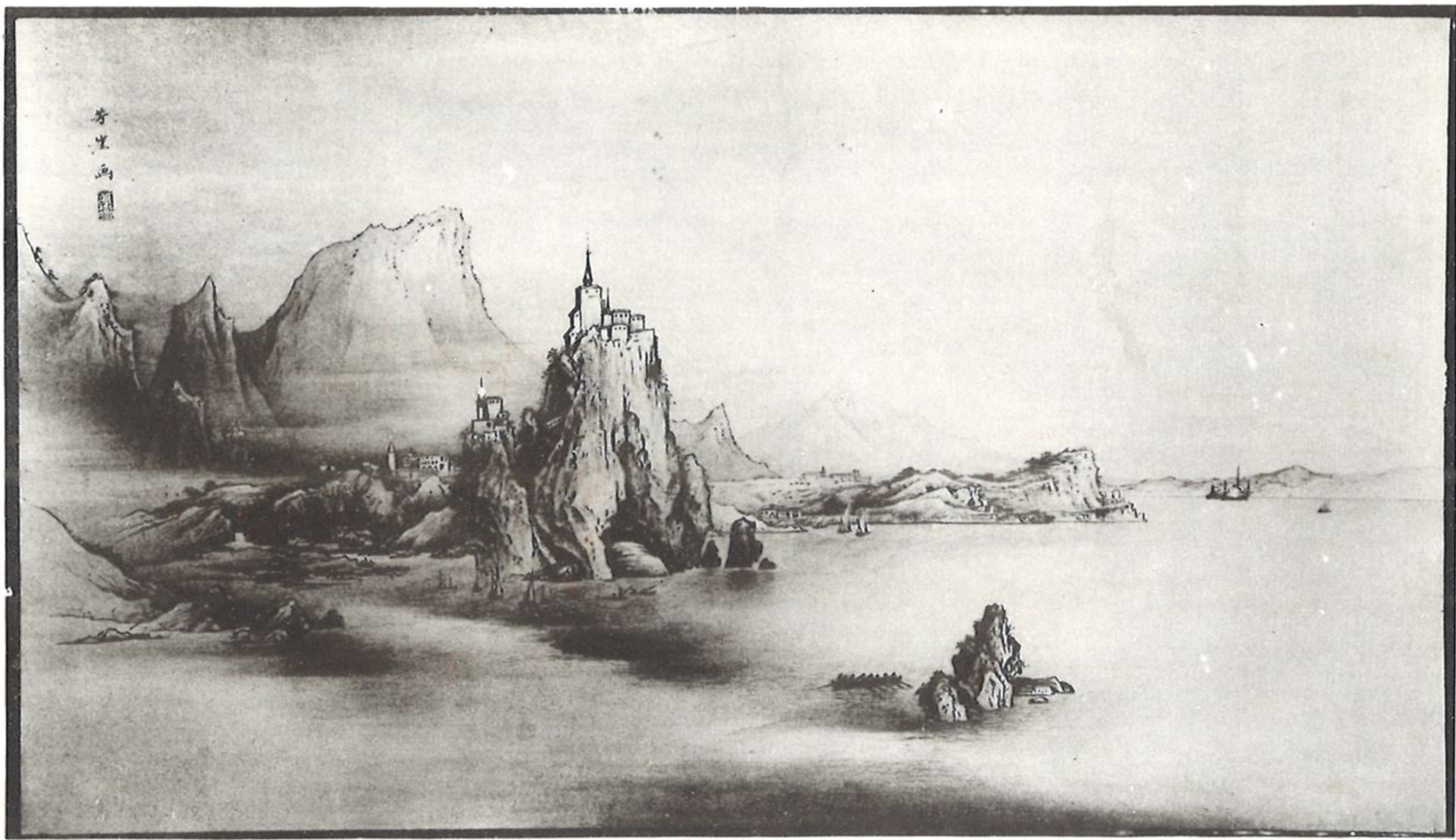
中村芳治氏所藏

防長亦是王五人勅王誰多於精
神我夫寬罪實有歲西氏遙六窺京
信時到新詢極在切百果若生未如夫

百寅歲且多憾

年一銘生





芳野風景圖

狩野芳涯風景圖

長府

桂彌一氏所藏



林百非山水圖



萩 林ツチ氏所藏

井上馨侯筆

下關

森祐三郎氏所藏

三十有餘通生且少山名
踏蹤橫干言奉策終始足因
室涉地初減明

甲子十一月
嶽中作

世外



高杉晋作畫讚

東京

高木春太郎氏所藏

窮苦之身達利天不
是此古言當贊隱者

乙丑冬 東行頑愚居士題



三浦觀樹將軍筆

款

土井市之進氏所藏

先年天子蒙幸之志可謂
 抱海懷勳亦凍土人未拂
 吹水扁空存

丙子之字者主祿者亦似
 有姓土井

三浦觀樹



西州有風防之暮打木家
目可公能揚功于人
冰清風期



菅江嶺花鳥圖



大道

上田寧二氏所藏

澤宜嘉郷筆

うらまへに
永代に伝へよ
あふあふも
あふあふも
あふあふも
あふあふも

澤宜嘉郷



萩

大岡與一郎氏所藏

夫日出之鄉陽氣所發地靈人傑食饒兵足
上之人以好生愛民為德下之人以一意奉
上為心至於其勇武則皆根諸天性此國體
之所以尊嚴也抑所謂勇武者非惟勁悍猛
烈以逞其威蓋亦必發於忠愛之至誠

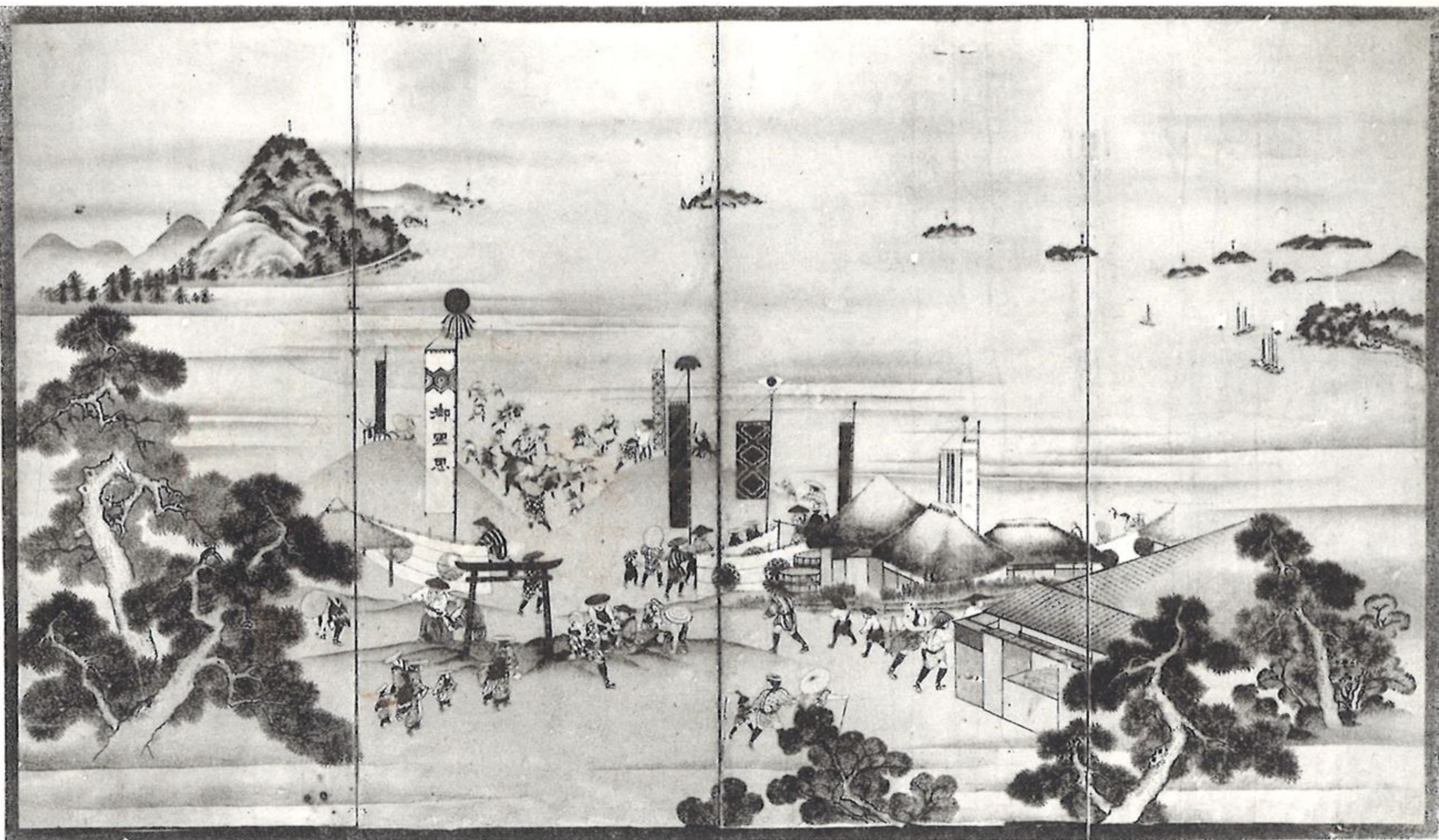
辛亥二月二十二日

後學 源希典書

世は刈菘とあるつゝ江はす日とらるる人難く標は
 小河を流るる湯はなるなるを架くは流るる
 靈きと云ふ程よく知る故に實は朝玉香に
 郷土生澤四葉草と云ふ其の綿衣の如く其を
 云ふ所のを駒はて雲すゝみの縁を嘶川、婦
 里し人易に絶方なきをたすよそのの如く
 云ふこれと果しは金を也はあつゝ其の
 先し是を也。の志流種は絶方なきを
 志はのふくまを也世はもあつゝ其の如く
 此はのふくまを也世はもあつゝ其の如く
 志はのふくまを也世はもあつゝ其の如く
 院の隆は也。今宵は也。其の如く
 中し。其の如く。其の如く。其の如く。

享和三年八月十日
 久坂玄瑞

久坂玄瑞



菊ヶ濱臺場築屏風

萩 長谷仁三郎氏所藏

形報 冥思業未央 自羞四十五 狂即今
成佛 飛亭意願帥 天魔輔國光

今更に何事か之代に終る 冥思業未央 自羞四十五 狂即今
冥思業未央 推命惜如之 只思之 國終以素素

前原一誠筆

藏

前原彦八氏所藏

群芳散綺照原空
於敏勁霜猶此
手傲志比峯
三石嶺
昌隆
京西
秋風

默字作人舊製



明治三十三年
創立當時の館舍



山口縣明木圖書館明城室

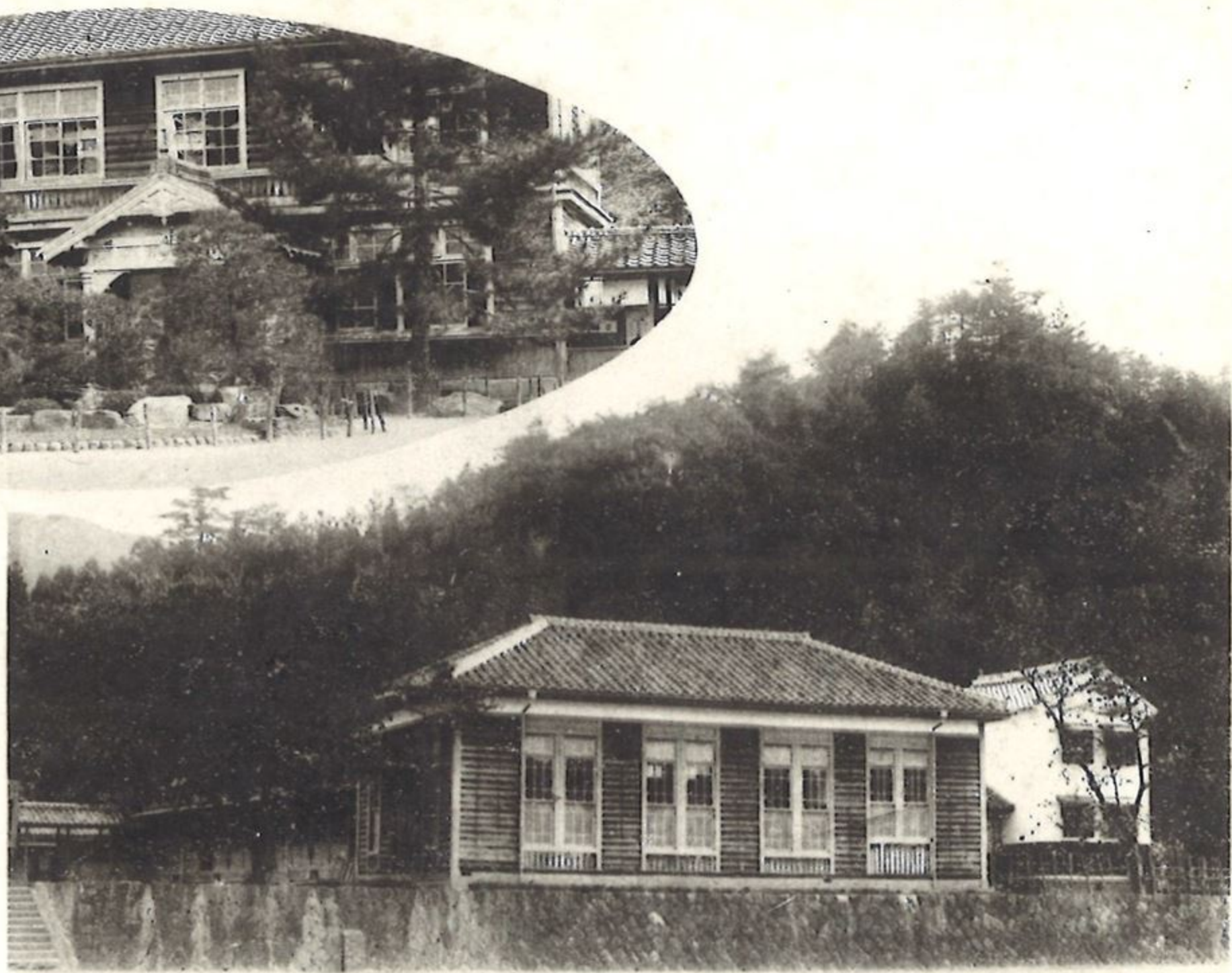


部一の架書

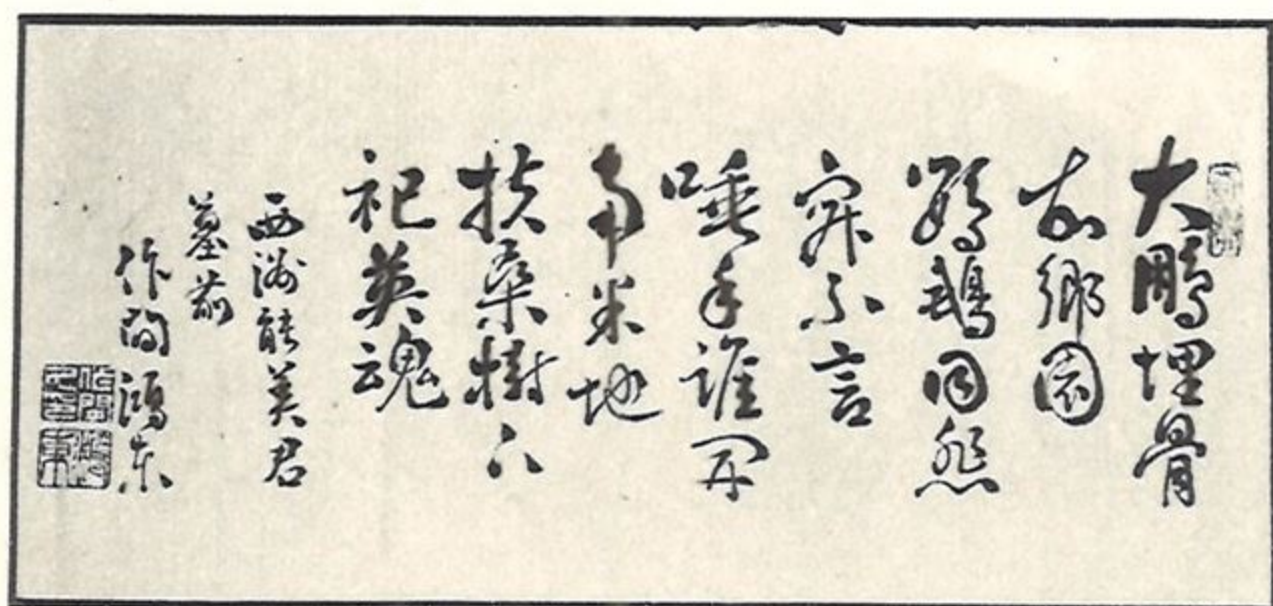
室覽閱館書圖木明縣口山



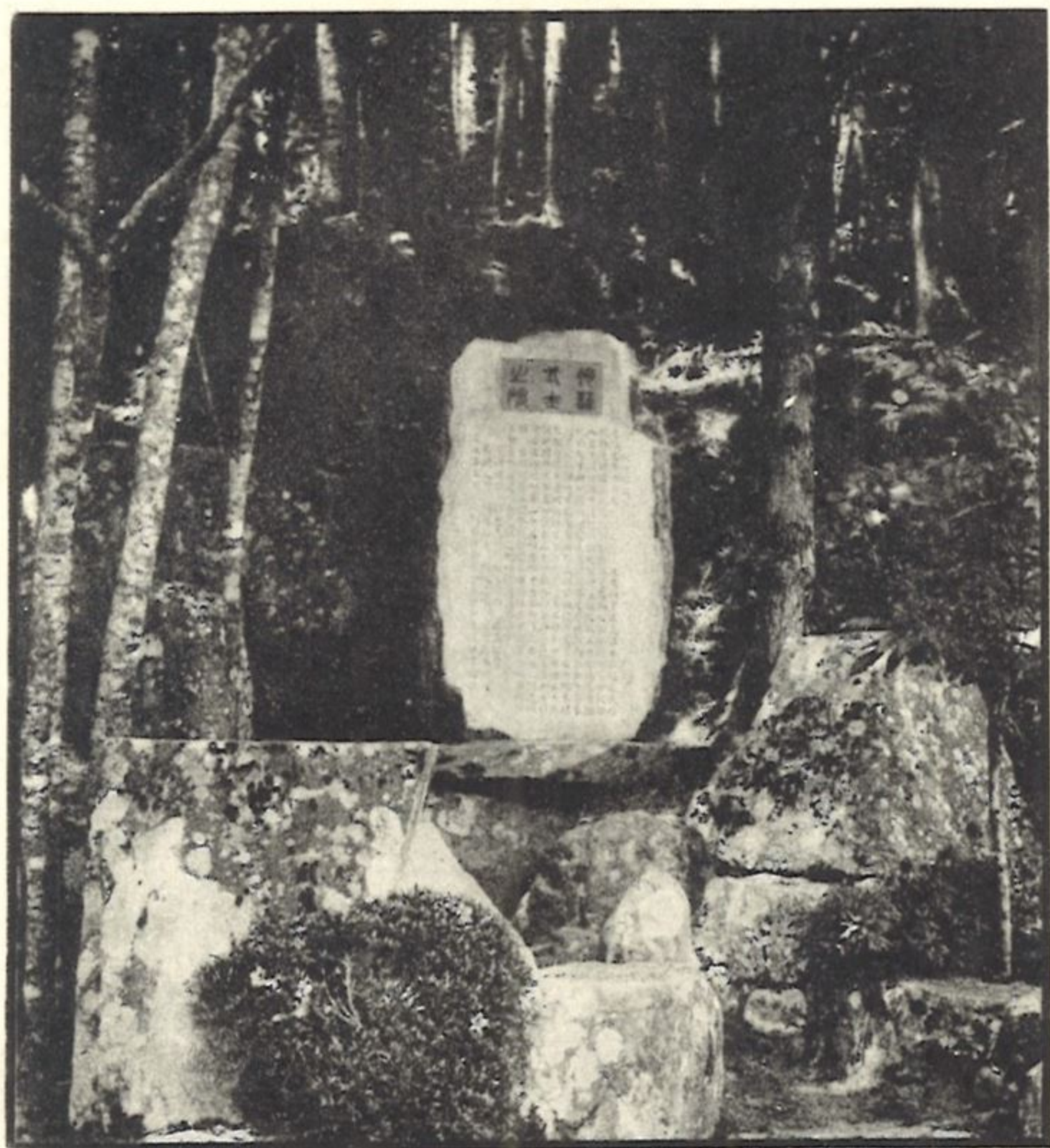
光華庭



山口縣明木圖書館全景



長門明木五勝の五
西洲能美君及野鶴の碑

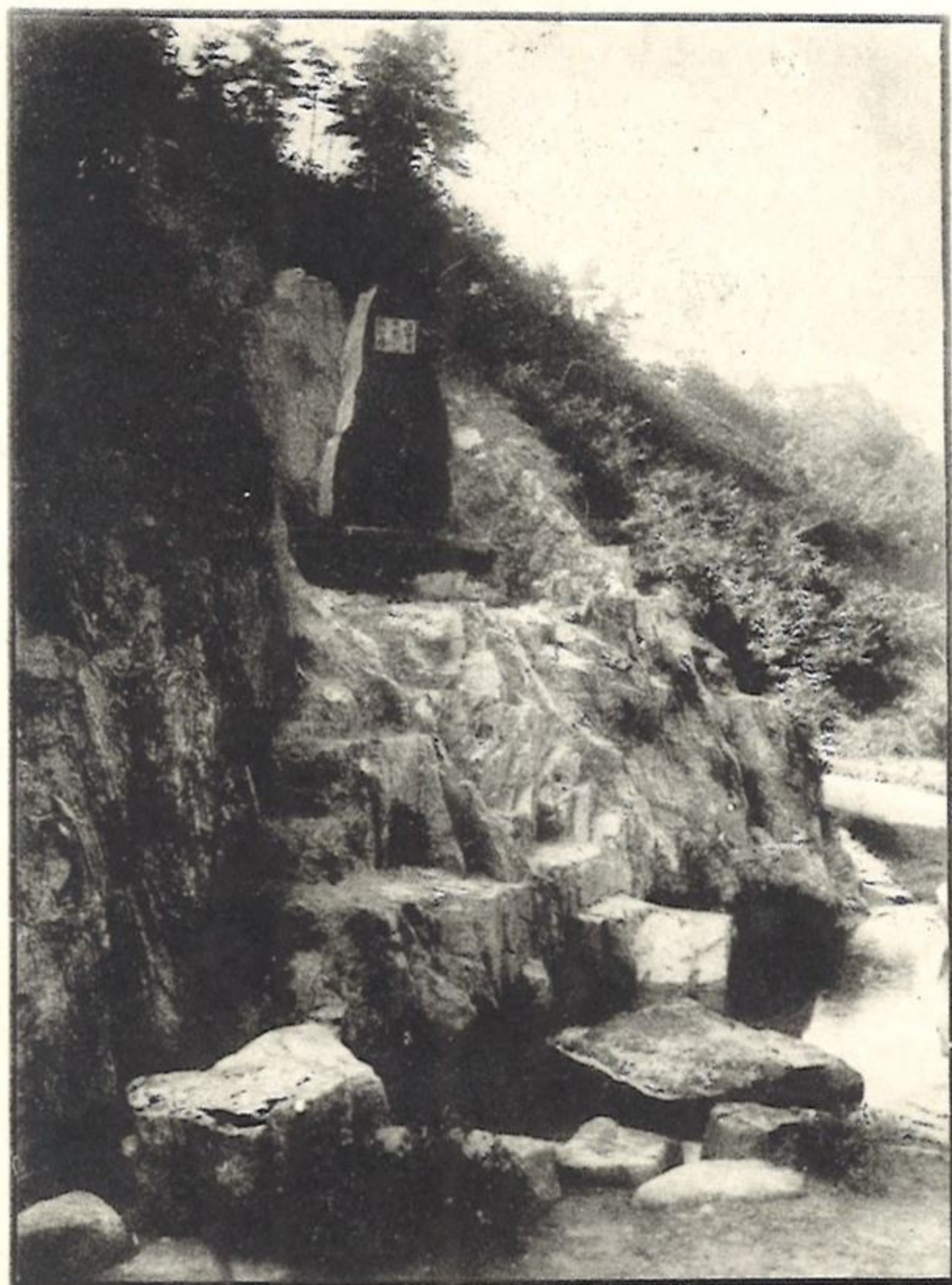


間明木村青年會建殉難三
 士碑有感賦長篇一首呈呈
 會長瀧口明博君几下
 雄藩正氣未光明何事妖雲蔽
 滿坪外敵純梁欲系深內江切
 急士心驚復國山中樹旗幟釋
 難定算若士誠鴻陽日有旌援
 在連合竊期託義怒七千里歸
 程夜將半寧國之刀起橋三
 三英雄血留遺恨權原計事
 月青素鬼翔初可吹滅後揚正
 氣思 天庭 不中無道原厚既
 見枯骨帶 恩榮五十星霜逝
 如水溪心斯 氣當辱、乃卷仁
 人德令聞重望姓名譽乃信
 青手社振作厚風贊太平
 最喜丹心仰先烈知謀策謀
 表權時若行人空灑淚一朝貞
 石倚峰嶽嗚呼感念哉上有
 聖恩大如海三子仁人志士不英雄
 丈夫報初一死之身後孰不慕忠
 貞時沫涕：趨輕薄賴有以碑
 足警醒非將正義為標鵠字運
 何由支覆傾願令君才奇康任
 風行永保 邦家之祥瑞

大正三年四月十九日

萩安藤紀一自白

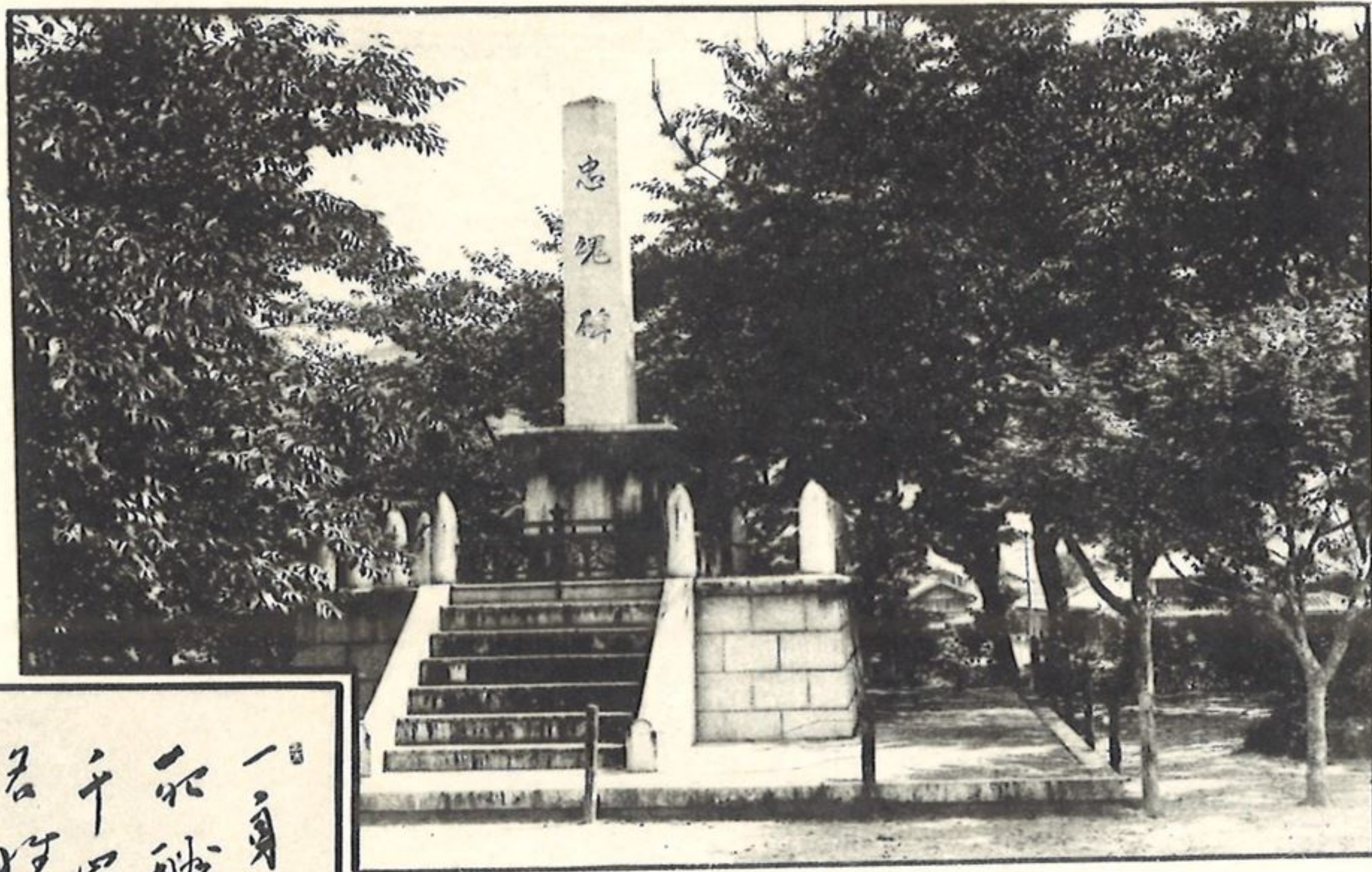
長門明木五勝の四
 殉難三氏の碑



礫石千鈞力可
 掀起奔公命入
 城門挺刃就役
 不思賞能使鄉
 人浴特恩權貴
 徇私彼何意易
 莠却見公義敦
 星霜三百存遺
 韻和氣洋、秋
 樂邨

礫石行詠卷六又十部
 二子事
 静室紀 附 圖

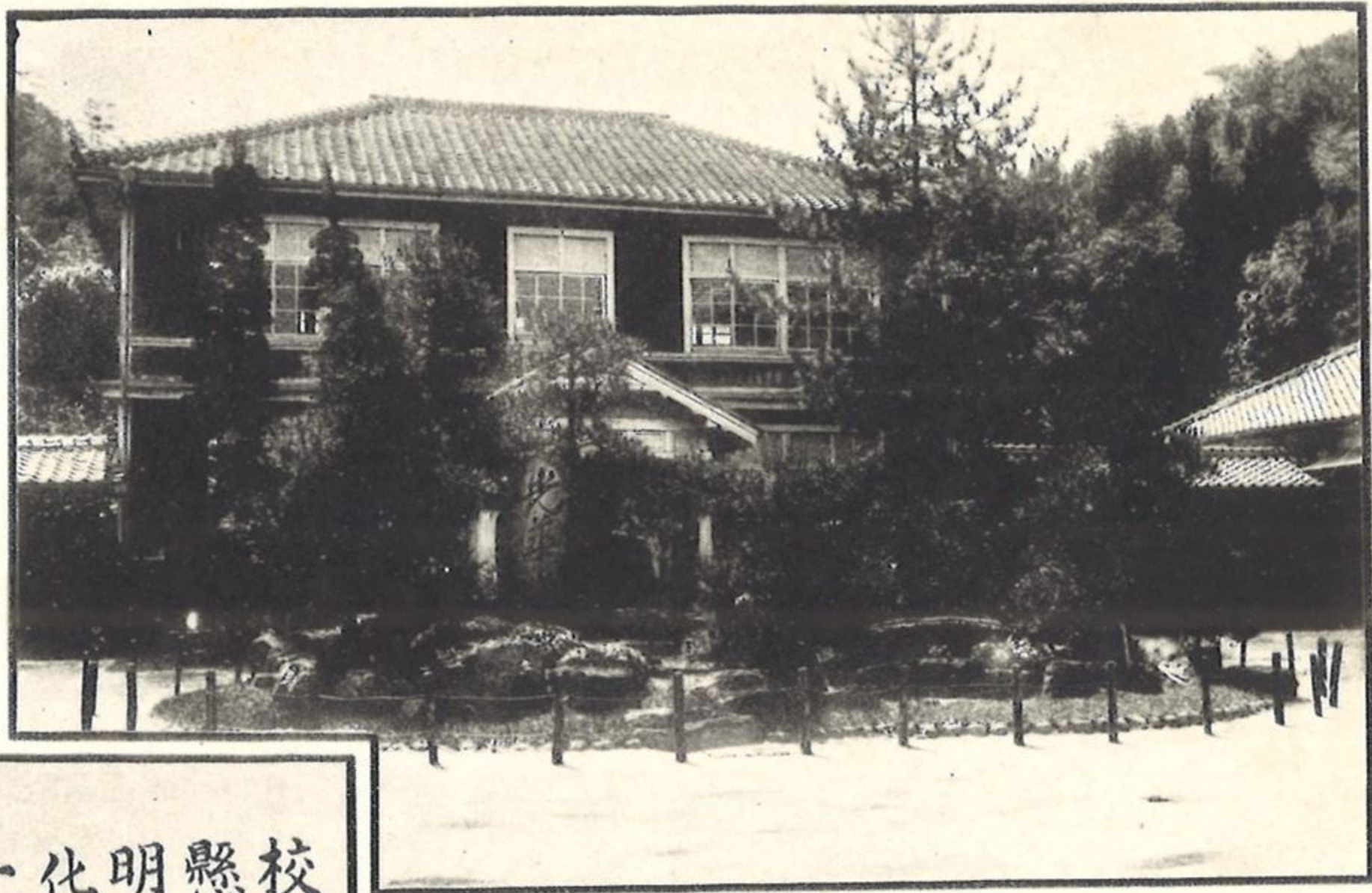
長門明木五勝の三
 彦六又十郎二氏之碑



一身殉國
 永酬恩
 千載豐碑
 名姓存
 長青孤村
 喬木立
 恰喜亦翠
 忠魂碑
 桂月山人寫
 印

長門明木五勝の二

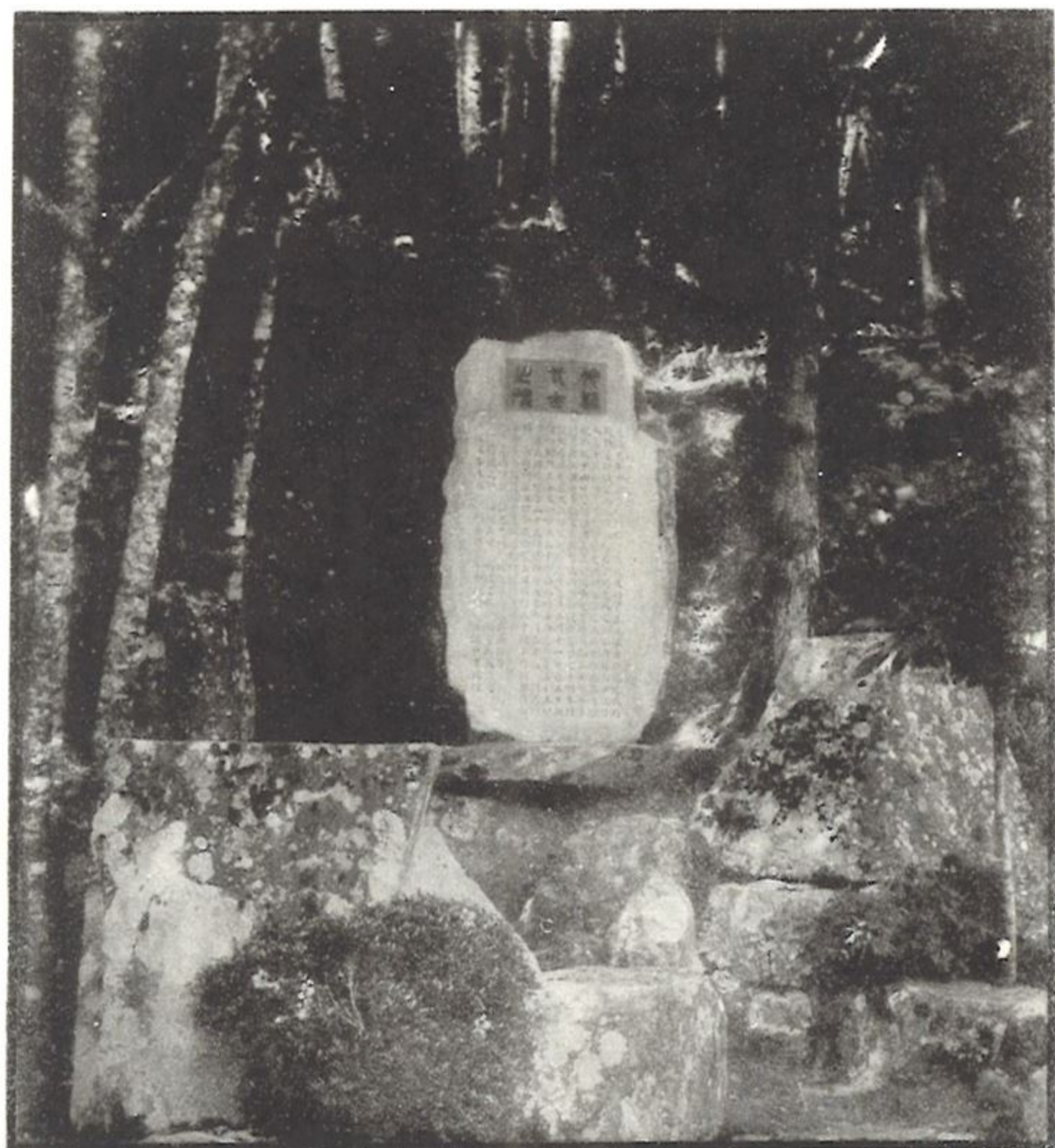
忠魂碑



校庭
 懸日月
 明德
 化鄉民
 一入
 門牆裏
 光華
 自滿身
 鴻東題

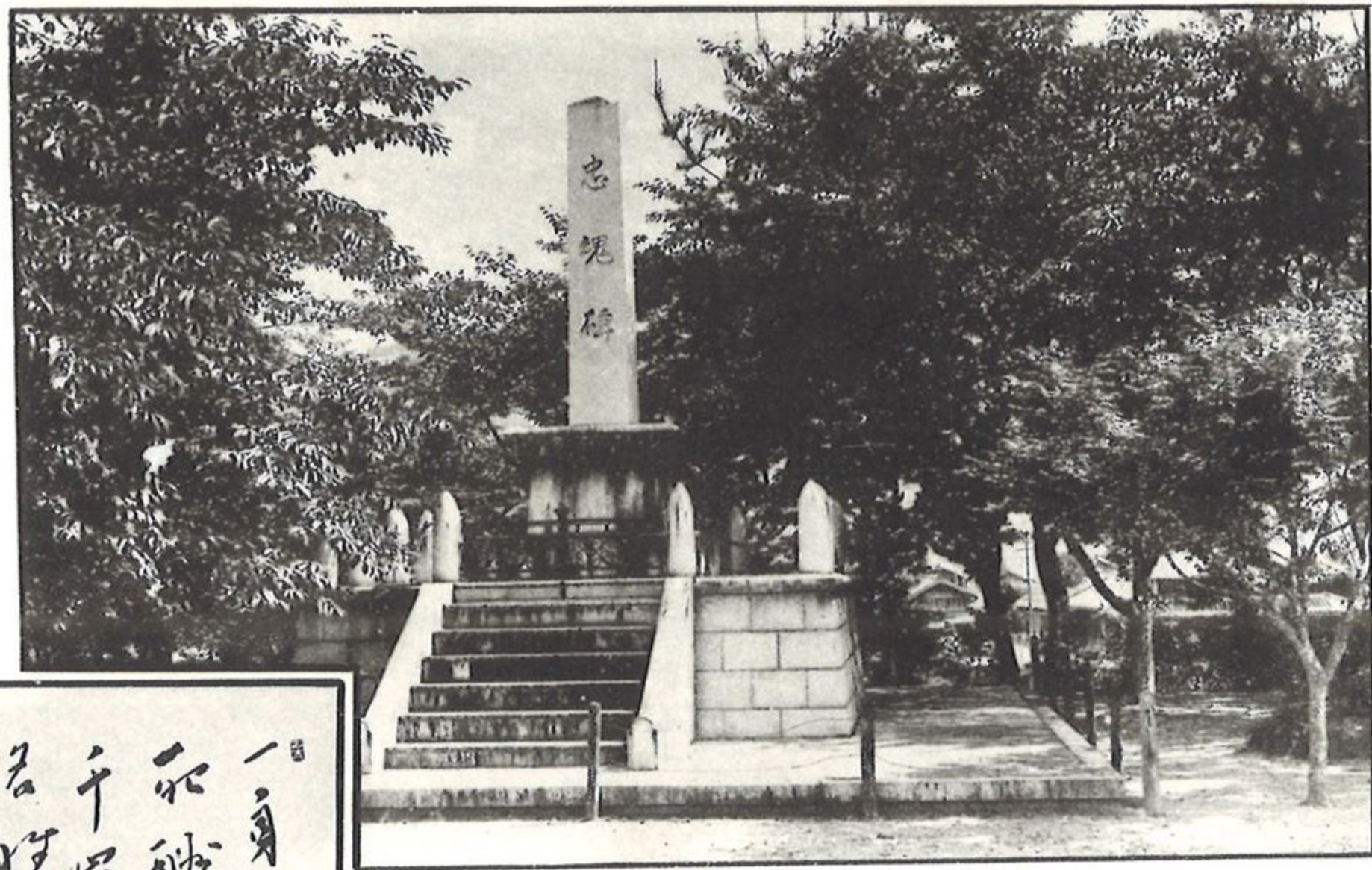
長門明木五勝の一

光華庭



聞明木村青年會建殉難三
 士碑有感賦長篇一首謹呈
 會長瀧口明碑君几下
 雄藩正氣本光明何事妖雲蔽
 滿陣外敵純梁欲奪深內江切
 志士心驚復國山中樹旗幟釋
 難定算若士誠鴻陽自有強援
 在連合窮期託義聲兮七里歸
 程夜將半宰國之刃起榛莽
 三美熱血留志恨權奴原以事
 月青素鬼翔初百吹滅發揚正
 氣忠 天庭 不改中無迫急厚既
 見枯骨帶 恩榮五十字星霜逝
 如水溪心斯氣當學 乃養仁
 人德之開重望姓名勳乃結
 青衿社振作淳風賢太平
 最喜丹心仰先烈知謀茅茲謀
 表旌曠若行人空灑淚一朝貞
 石倚崢嶸嗚呼盛衰哉上齊
 聖恩大如海三三仁人志士不與靈
 丈夫報効一死之身法孰不忠忠
 貞時流涕趨輕薄賴有以碑
 之警醒非將正義為標鵠至運
 何由支覆傾願令君才壽康位
 風教永保邦家之祥禎
 大正三年四月十九日
 萩安藤紀一自具

長門明木五勝の四
 殉難三氏の碑



一身殉國
 永酬恩
 千軍堂碑
 名煙存
 長青孤村
 喬木三
 陰春亦翠
 忠魂
 長門明木五勝の二
 松月山人寫

長門明木五勝の二

忠魂碑



大鵬埋骨
 古鄉園
 鷓鴣回怨
 寔不言
 唾手誰平
 中米地
 扶桑樹下
 祀英魂
 西洲能美君
 墓前
 作問鴻鵠
 東

長門明木五勝の五
 西洲能美君及鷓鴣の碑



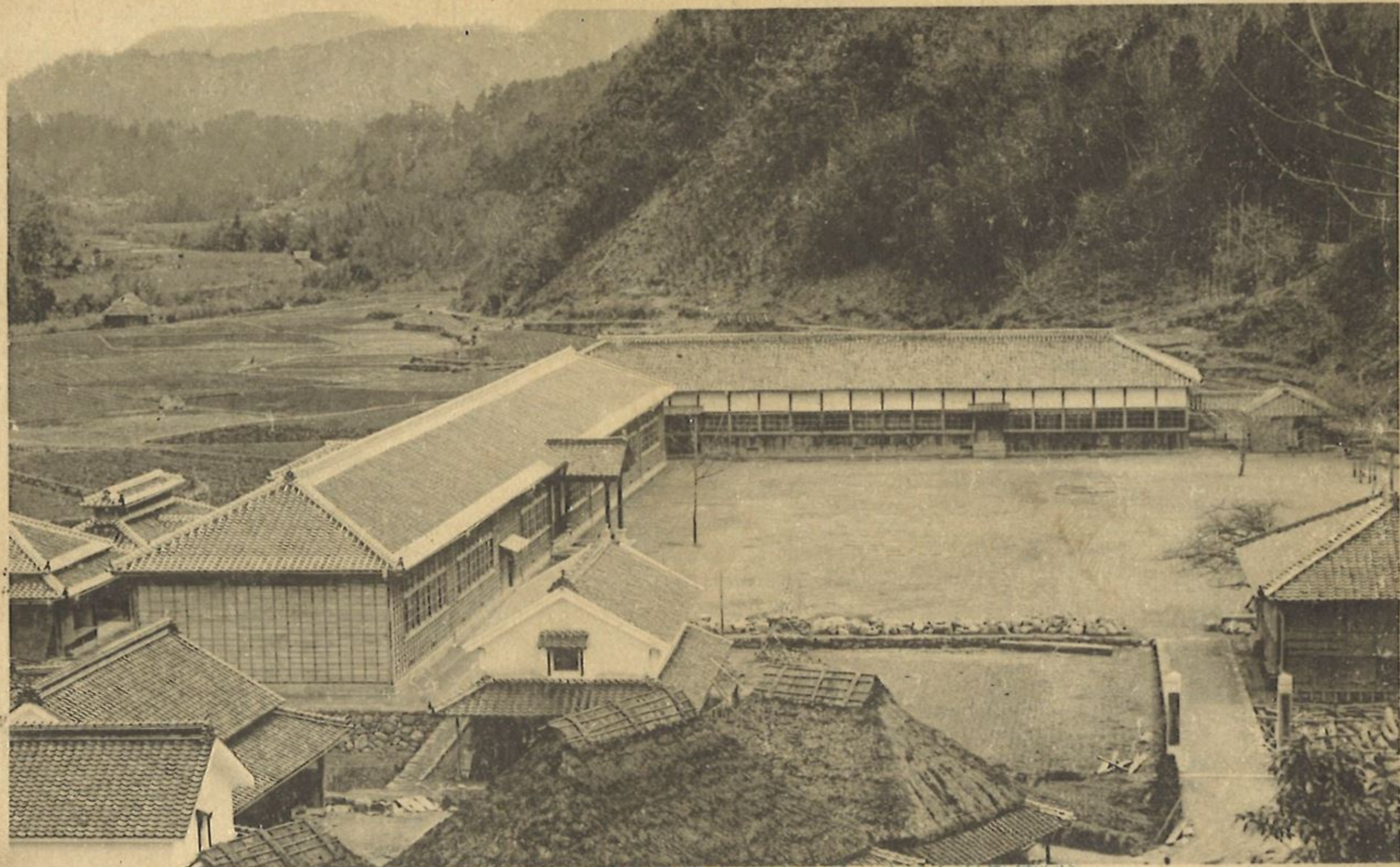
落成式記念 佐々並村役場 (玉木寫眞館製)



落成式記念 佐々並村信用組合事務所 (玉木寫真館製)



落成式記念 佐々並市全景 (玉木寫真縮製)



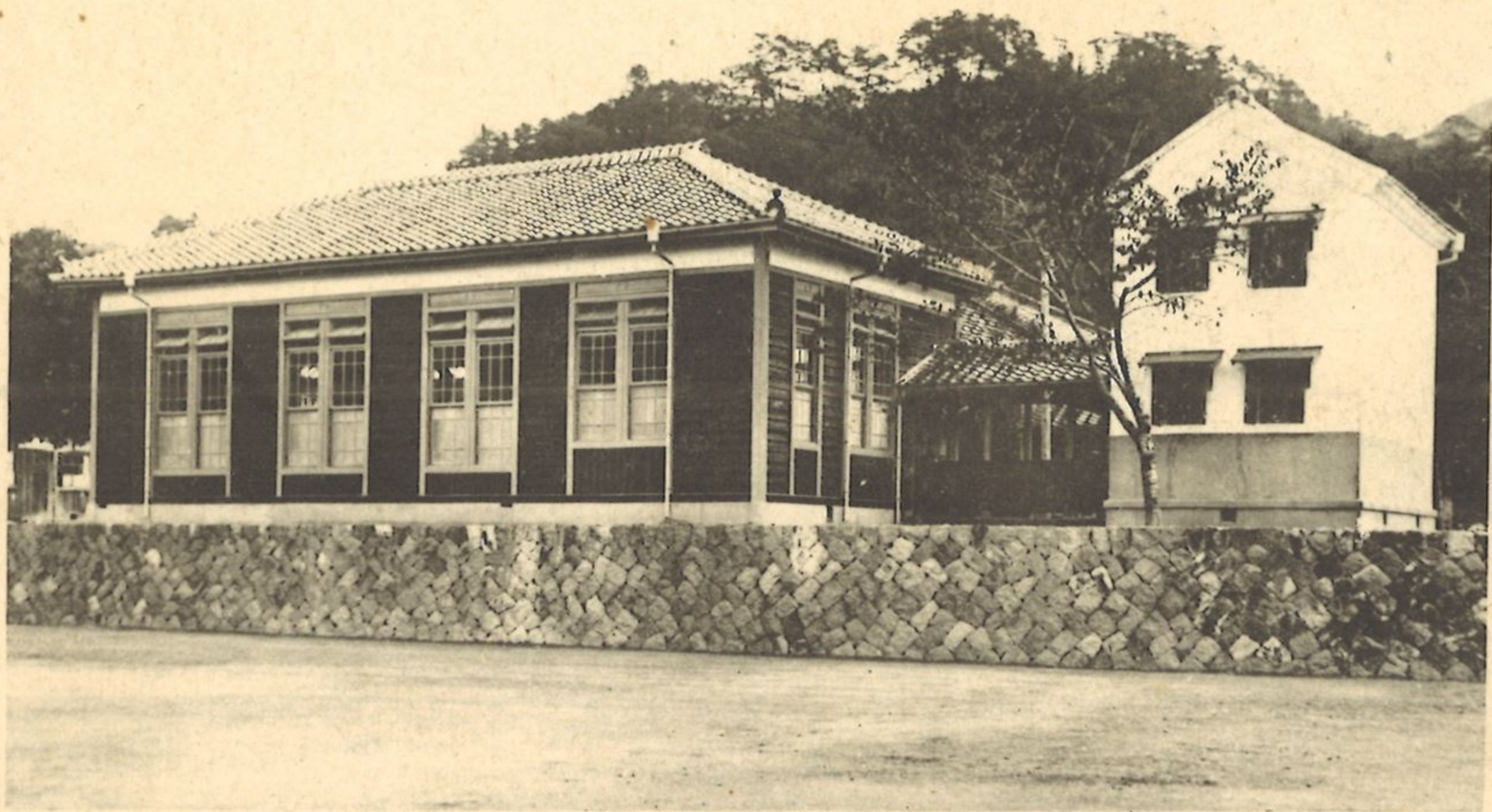
落成式記念 佐々並村尋常高等小學校全景 (玉木寫眞館製)



落成式記念 佐々並市之絶景 (永木寫眞館製)



面正觀外 (一其) 館書圖木明 立村 縣口山



山口市 立村 明木圖書館 外觀側面 (其二)



近附市並々佐（景風並々佐）
（製館真寫長防町山）



(景風並々佐)
合組業産並々佐
(製籠真爲長防口山)



(景風並々佐)
場役村並々佐
(製館眞寫長防口山)

校學小等高常尋並々佐（景風並々佐）
（製館真寫長防口山）



(景風並々佐)

寺林西宗濟臨
(製館真寫長防口山)



社神所六社郷（景風並々佐）
（製館真寫長防口山）





(景風並々佐)
越丁八
(製館真寫長防口山)



(景風並々佐)

望遠の山湖鳳西

(製縮眞寫長防口山)



(景風並々佐)
切魚上溪湫
(製館眞爲長防口山)

(景風並々佐)
溪魚斷平ヶ淵



(裂館眞寫長防口山)